

## 航空法第111条の4に基づく報告一覧(平成24年4月～平成25年3月)

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
4/1	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NK	新千歳空港	神戸空港	上昇中、左右燃料タンクの燃料量に運用限界を超過する差異が一次的に生じた。	
4/1	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NB	東京国際空港	熊本空港	上昇中、左右燃料タンクの燃料量に運用限界を超過する差異が一次的に生じた。	
4/1	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA02KZ	ニューヨーク	アンカレッジ	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
4/2	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA03KZ	成田国際空港	香港	着陸後、第3エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
4/2	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737N	那覇空港	成田国際空港	巡航中、対地接近警報装置が不動作であることを示すライトが点灯した。	
4/2	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NL	東京国際空港	那覇空港	上昇中、左側主翼付け根部の内部が過熱していることを示すライトが点灯した。	
4/3	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA603A	北京	東京国際空港	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
4/3	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737M	福岡空港	那覇空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
4/3	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737M	那覇空港	東京国際空港	巡航中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
4/3	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA203J	青森空港	大阪国際空港	進入中、被雷により胴体前部及びピトー管等が損傷した。	
4/3	日本航空	ボーイング式777-200型	JA772J	東京国際空港	大阪国際空港	降下中、低気圧の影響に伴う風の急変により、高揚力装置展開時の運用限界速度を一時的に超過した。	
4/4	日本航空	ボーイング式777-200型	JA711J	東京国際空港	高雄	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/4	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737U	東京国際空港	新千歳空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
4/4	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8664	関西国際空港	東京国際空港	進入中、脚下げ操作を実施したが、鳥衝突によりセンサーが損傷し、右脚が下がっていることを示すライトが点灯しなかった。	
4/4	全日本空輸	ボーイング式747-400D型	JA8966			定時整備中、航空機用救命無線機が不動作であることを発見した。	
4/4	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA05FJ	花巻空港	名古屋飛行場	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/5	日本航空	ボーイング式737-800型	JA328J	成田国際空港	福岡空港	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/5	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA845A	大阪国際空港	高知空港	上昇中、前方の貨物室扉が確実に閉じられていないことを示すライトが点灯したため、引き返した。	レギュラー運航
4/5	日本航空	ボーイング式737-800型	JA333J	成田国際空港	福岡空港	進入中、被雷により胴体及び左側水平尾翼が損傷した。	
4/5	新中央航空	ドルニエ式Dornier228-212型	JA33CA	調布飛行場	神津島空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があったため、引き返した。	レギュラー運航
4/5	ピーチ・アビエーション	エアバス式A320-214型	JA803P	関西国際空港	新千歳空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/5	朝日航洋	セスナ式680型	JA680C	名古屋飛行場	名古屋飛行場	空中待機中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/6	日本航空	ボーイング式767-300型	JA602J	ホノルル	成田国際空港	離陸滑走中、客室ギャレー内のカートが移動し、座席に接触して停止した。(離陸前の確認が不十分であった。)	
4/6	北海道国際航空	ボーイング式737-500型	JA8196	東京国際空港	新千歳空港	離陸滑走中、管制機関からウィンドシアア発生のお知らせを受けたため、離陸を中止した。	
4/9	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8291	東京国際空港	福岡空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/9	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NB	東京国際空港	新千歳空港	進入中、自動操縦装置の機能が低下するとともに、フライトディレクターの指示が消えたため、復行を行った。	
4/10	全日本空輸	エアバス・インダストリー式A320-200型	JA8313	大阪国際空港	福岡空港	運航整備中、乗客用の一部の酸素マスクが正常に落下しない状態であることを発見した。	
4/10	日本エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA851C	宮崎空港	福岡空港	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/11	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8971	鹿児島空港	東京国際空港	上昇中、被雷により胴体後部が損傷した。	
4/11	日本エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA849C	鹿児島空港	屋久島空港	巡航中、被雷により胴体及び右側エルロンが損傷したため、引き返した。	レギュラー運航
4/11	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73ND	旭川空港	成田国際空港	上昇中、左右燃料タンクの燃料量に運用限界を超過する差異が一次的に生じた。	
4/11	ジャルエクスプレス	ボーイング式737-800型	JA304J	那覇空港	関西国際空港	運航整備中、胴体側面の外部電源の接続部に損傷を発見した。	
4/12	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8987	東京国際空港	熊本空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/12	日本航空	ダグラス式MD-90-30型	JA8066	東京国際空港	秋田空港	着陸時、鳥衝突により左側高揚力装置が損傷した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
4/13	全日本空輸	ボーイング式737-700型	JA08AN	宮古空港	那覇空港	巡航中、左右燃料タンクの燃料量の差異の修正操作を誤ったため、運用限界を超過した。	
4/13	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA05MC	東京国際空港	北九州空港	エンジン始動後、副操縦士側の航法装置に不具合が発生した。	
4/13	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA56AN			定時整備中、乗客用の酸素マスクの落下試験を実施したが、規定値内で作動しなかった。	
4/13	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NN	東京国際空港	福岡空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不作動であることを示す計器表示があった。	
4/13	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NN	福岡空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不作動であることを示す計器表示があった。	
4/14	北海道国際航空	ボーイング式767-300型	JA601A	旭川空港	東京国際空港	運航整備中、操縦室内の非常脱出口灯が点灯しないことを発見した。	
4/14	北海道国際航空	ボーイング式767-300型	JA01HD	東京国際空港	新千歳空港	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
4/16	日本航空	ボーイング式737-800型	JA330J			定時整備中、航空機用救命無線機の不作動を発見した。	
4/17	日本航空	ダグラス式MD-90-30型	JA006D	旭川空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/17	日本航空	ダグラス式MD-90-30型	JA8069	東京国際空港	宮崎空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/17	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA215J			定時整備中、非常用脱出スライドを作動させたところ、空気漏れにより正常に展開しなかった。	
4/17	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA8969	函館空港	東京国際空港	降下中、被雷により胴体及び左側主翼端部が損傷した。	
4/17	日本航空	ボーイング式777-200型	JA007D	新千歳空港	東京国際空港	進入中、被雷により胴体前部が損傷した。	
4/17	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA03FJ	福岡空港	新潟空港	巡航中、与圧装置の不具合を示す計器表示があったため手動で与圧制御を行ったが、誤って最大差圧の運用限界を超過した。	
4/18	北海道国際航空	ボーイング式767-300型	JA98AD	函館空港	東京国際空港	進入中、脚下げ操作を実施したが、操作レバーの位置と脚の位置が不一致であることを示す計器表示があったため、代替操作により脚下げを行った。	
4/19	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8525	石垣空港	那覇空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/20	日本航空	ボーイング式767-300型	JA657J	東京国際空港	熊本空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/20	エアージャパン	ボーイング式767-300型	JA619A	ホーチミン	成田国際空港	巡航中、機内で急病人が発生したため引き返し、最大着陸重量を超過した状態で着陸した。	
4/20	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA618A	シンガポール (パヤレバ)	成田国際空港	離陸後、脚上げ操作を実施したが、脚が正常に格納されていないことを示す計器表示があったため、目的地を変更した。	レギュラー運航
4/20	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA208J	大阪国際空港	秋田空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
4/21	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA220J	大阪国際空港	秋田空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/21	日本航空	ボーイング式767-300型	JA613J	ホルル	関西国際空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
4/22	ANAウイングス	ボーイング式737-500型	JA306K	那覇空港	石垣空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
4/22	ANAウイングス	ボーイング式737-500型	JA306K	那覇空港	石垣空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
4/22	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA201J	関西国際空港	大阪国際空港	進入中、脚下げ操作を実施したが、前脚が下がらなかったため、手動操作により脚下げを行った。	
4/22	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NE	新千歳空港	百里飛行場	誤って許可を受けた滑走路とは異なる滑走路に着陸した。	
4/23	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA04RJ	小松飛行場	仙台空港	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/23	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA8197	大阪国際空港	東京国際空港	降下中、被雷によりレドームが損傷した。	
4/23	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NA	東京国際空港	熊本空港	巡航中、対地接近警報装置が不作動であることを示すライトが点灯した。	
4/23	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8669	富山空港	東京国際空港	進入中、鳥衝突によりレドーム及び左側主翼前縁の高揚力装置が損傷した。	
4/23	日本航空	ボーイング式777-200型	JA8983	東京国際空港	那覇空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
4/23	日本航空	ボーイング式777-200型	JA007D	那覇空港	東京国際空港	進入中、被雷により胴体前部及び水平尾翼端部等が損傷した。	
4/24	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA209J	秋田空港	大阪国際空港	進入中、エンジンから抽気した空気ダクトの温度センサーに不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
4/25	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737R	那覇空港	宮古空港	巡航中、機内放送装置が不作動となった。	
4/25	ANAウイングス	ボーイング式737-500型	JA306K	那覇空港	石垣空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
4/25	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA02MC	北九州空港	東京国際空港	着陸時、接地と同時に機長側の座席が後方に移動したため、直ちに操縦を副操縦士に交代した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
4/25	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Z	成田国際空港	那覇空港	進入中、航空機衝突防止装置が不作動であることを示す計器表示があった。	
4/25	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA06RJ	仙台空港	福岡空港	離陸滑走中、電子機器室扉が確実に閉じられていないことを示す計器表示があったため、離陸を中止した。	
4/26	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8290	那覇空港	高松空港	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
4/26	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8397			定時整備中、非常用脱出口近傍の乗客用座席に誤った部品番号のクッションが取り付けられていることを発見した。	
4/27	日本エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA844C	種子島空港	鹿児島空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/27	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	JA392K	宮崎空港	那覇空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/27	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8290	東京国際空港	神戸空港	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
4/27	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NF	成田国際空港	旭川空港	巡航中、対地接近警報装置が不作動であることを示すライトが点灯した。	
4/27	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8987	鹿児島空港	東京国際空港	運航整備中、非常用脱出口近傍の乗客用座席に誤った部品番号のクッションが取り付けられていることを発見した。	
4/28	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA03KZ	アンカレッジ	成田国際空港	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
4/28	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8398	那覇空港	東京国際空港	運航整備中、非常用脱出口近傍の乗客用座席に誤った部品番号のクッションが取り付けられていることを発見した。	
4/29	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737R	福岡空港	東京国際空港	地上滑走中、機内放送装置が不作動となった。	
4/29	北海道国際航空	ボーイング式737-500型	JA305K	東京国際空港	新千歳空港	進入中、誤って運用限界速度を超える速度で高揚力装置を展開した。	
4/29	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA01RJ	福島空港	大阪国際空港	離陸後、脚上げ操作を実施したが、前脚の格納扉が閉じていないことを示す計器表示があったため、引き返した。	イレギュラー運航
4/29	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8360	小松飛行場	東京国際空港	巡航中、左右燃料タンクの燃料量の差異が拡大し、運用限界を超過した。(燃料配管弁の状態確認等が不十分であった。)	
4/29	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA848A	中部国際空港	新潟空港	進入中、無線機の操作パネルが不作動となり、航空機衝突防止装置が不作動であることを示す計器表示があった。	
4/30	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8677	大阪国際空港	仙台空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/1	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA03RJ	仙台空港	大阪国際空港	上昇中、貨物室扉が確実に閉じられていないことを示す計器表示があった。	
5/1	全日本空輸	ボーイング式737-700型	JA03AN	成田国際空港	成都(中国)	巡航中、対地接近警報装置が不作動であることを示すライトが点灯した。	
5/1	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA60AN	中部国際空港	新千歳空港	上昇中、対地接近警報装置が不作動であることを示すライトが点灯した。	
5/1	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737L	那覇空港	東京国際空港	巡航中、航空機衝突防止装置が不作動であることを示す計器表示があった。	
5/2	全日本空輸	ボーイング式737-700型	JA03AN	成田国際空港	成都(中国)	巡航中、機内で急病人が発生したため目的地を変更し、最大着陸重量を超過した状態で着陸した。	
5/2	ジャルエクスプレス	ボーイング式737-800型	JA320J	那覇空港	関西国際空港	上昇中、被雷により胴体前部及び第2エンジンの外部が損傷した。	
5/2	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA209J	花巻空港	福岡空港	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
5/2	全日本空輸	ボーイング式737-500型	JA8419			定時整備中、中央翼下面の外板に腐食を発見した。	
5/3	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA786A			定時整備中、乗客用の一部の酸素マスクが正常に落下しない状態であることを発見した。	
5/3	日本航空	ダグラスMD-90-30型	JA8065	東京国際空港	岡山空港	巡航中、ピッチ制御が不安定となり、管制指示高度を逸脱した。	
5/3	全日本空輸	ボーイング式737-700型	JA09AN	成田国際空港	仙台空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/4	北海道国際航空	ボーイング式737-500型	JA8595	新千歳空港	富山空港	上昇中、鳥の群れに遭遇したため、引き返し、点検を行ったところ、第1エンジンに鳥衝突による損傷を発見した。	イレギュラー運航
5/4	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA711A	東京国際空港	福岡空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/4	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA208J	新千歳空港	仙台空港	上昇中、防水装置の不具合を示す計器表示があった。	
5/4	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA805A	フランクフルト	東京国際空港	離陸後、誤って管制指示経路から逸脱した。	
5/5	全日本空輸	ボーイング式737-700型	JA03AN	成田国際空港	成都(中国)	巡航中、対地接近警報装置が不作動であることを示すライトが点灯した。	
5/6	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA808A	松山空港	東京国際空港	離陸滑走中、鳥の群れに遭遇したため、離陸を中止した。	
5/6	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8267	旭川空港	東京国際空港	降下中、被雷により左側の主翼端部及びエルロンが損傷した。	
5/6	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737P	成田国際空港	那覇空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不作動であることを示す計器表示があった。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
5/6	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NM	東京国際空港	熊本空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/6	エアージャパン	ボーイング式767-300型	JA612A	成田国際空港	香港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/7	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA732A	成田国際空港	サンフランシスコ	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/7	日本エアコミューター	サブ式SAAB340B型	JA8649	出雲空港	福岡空港	離陸滑走中、第2エンジンの出力が離陸出力に達しないため、離陸を中止した。(整備作業が不適切であったものと考えられる。)	
5/8	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8569	東京国際空港	新千歳空港	降下中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
5/9	全日本空輸	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA856A	大阪国際空港	高知空港	上昇中、被雷により胴体右側及びエレベータが損傷した。	
5/9	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA64AN	長崎空港	大阪国際空港	降下中、被雷により垂直尾翼が損傷した。	
5/10	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NN	成田国際空港	新千歳空港	上昇中、被雷により第2エンジンの逆推力装置及び垂直尾翼が損傷した。	
5/10	全日本空輸	ボーイング式737-700型	JA03AN	徳島飛行場	東京国際空港	巡航中、対地接近警報装置が不動作であることを示すライトが点灯した。	
5/10	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA06RJ	大阪国際空港	仙台空港	運航整備中、左右の主翼端部に被雷による損傷を発見した。	
5/10	天草エアライン	デ・ハビランド式DHC-8-103型	JA81AM	熊本空港	大阪国際空港	着陸復行中、高揚力装置を収納する時機が遅すぎたため、高揚力装置展開時の運用限界速度を超過した。	
5/11	日本航空	ボーイング式737-800型	JA337J	福岡空港	成田国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/11	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8324	東京国際空港	高松空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
5/11	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737P	福岡空港	成田国際空港	巡航中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
5/11	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA218J	山形空港	大阪国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/12	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	JA734H	那覇空港	宮崎空港	巡航中、対地接近警報装置が不動作であることを示すライトが点灯した。	
5/13	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NJ	成田国際空港	旭川空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
5/13	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA205J	秋田空港	大阪国際空港	上昇中、与圧系統の不具合を示す計器表示があったため、引き返した。	レギュラー運航
5/13	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA806A	東京国際空港	フランクフルト	離陸滑走中、客室ギャレー内のコンテナが移動し、床に落下した。(離陸前の確認が不十分であった。)	
5/13	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-800型	JA804X	東京国際空港	宮崎空港	上昇中、主脚格納室内の火災を示すライトが点灯したため、航空交通管制上の優先権を要請の上、引き返した。	レギュラー運航
5/13	琉球エアコミューター	デ・ハビランド式DHC-8-103型	JA8935	那覇空港	与那国空港	離陸後、脚上げ操作を実施したが、前脚が正常に格納されていないことを示すライトが点灯したままとなったため、引き返した。	レギュラー運航
5/14	日本航空	ボーイング式767-300型	JA610J	広島	成田国際空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
5/14	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NA	神戸空港	新千歳空港	巡航中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
5/14	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA05FJ	福岡空港	名古屋飛行場	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/16	新中央航空	ドルニエ式Dornier228-212型	JA34CA	新島空港	調布飛行場	巡航中、電波高度計が不動作であることを示す計器表示があり、航空機衝突防止装置及び対地接近警報装置が不動作となった。	
5/16	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8568	高松空港	東京国際空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
5/16	ANAウイングス	ボーイング式737-500型	JA359K	大阪国際空港	長崎空港	進入中、対地接近警報装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/16	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA03KZ	アンカレッジ	シカゴ	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/16	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8975	東京国際空港	小松飛行場	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/17	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8996	那覇空港	宮古空港	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
5/18	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8939	小松飛行場	那覇空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/18	日本航空	ダグラス式MD-90-30型	JA004D	東京国際空港	三沢飛行場	離陸後、鳥衝突により第2エンジンが損傷したため、引き返した。	レギュラー運航
5/18	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	JA737E	那覇空港	鹿児島空港	進入中、対地接近警報装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/18	エアアジア・ジャパン	エアバス・インダストリー式A320-200型	JA8384	成田国際空港	福岡空港	進入中、降下の時機が早すぎたため対地接近警報装置が作動し、回避指示に従って回避操作を行った。	
5/19	北海道国際航空	ボーイング式767-300型	JA98AD	東京国際空港	函館空港	運航整備中、非常用脱出スライドを展開させる駆動装置の一部に不具合を発見した。	
5/19	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	JA737A	東京国際空港	鹿児島空港	進入中、対地接近警報装置の回避指示に従って回避操作を行った。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
5/19	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA07KZ	アムステルダム	ミラノ	着陸後、第4エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
5/19	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA209J	新千歳空港	仙台空港	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
5/20	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737R	長崎空港	神戸空港	巡航中、機内放送装置が不作動となった。	
5/20	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737R	神戸空港	東京国際空港	着陸後、機内放送装置が不作動となった。	
5/20	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737P	新千歳空港	関西国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不作動であることを示す計器表示があった。	
5/20	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737R			定時整備中、客室内の非常用照明灯バッテリーの一部に容量不足を発見した。	
5/20	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA209J	大分空港	大阪国際空港	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
5/21	エアージャパン	ボーイング式767-300型	JA8356	成田国際空港	バンコク	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
5/21	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737R	宮古空港	那覇空港	巡航中、機内放送装置が不作動となった。	
5/21	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NN			定時整備中、客室内の防水携帯灯の一部に不点灯を発見した。	
5/22	日本航空	ダグラス式MD-90-30型	JA8065	東京国際空港	山口宇部空港	巡航中、ピッチ制御が不安定となり、管制指示高度を逸脱した。	
5/22	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA854A	松山空港	大阪国際空港	離陸後、脚上げ操作を実施したが、前脚が正常に格納されていないことを示すライトが点灯したままとなったため、引き返した。	イレギュラー運航
5/22	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737R	宮古空港	那覇空港	降下中、機内放送装置が不作動となった。	
5/22	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NE	台北	東京国際空港	エンジン始動後、外気温度計のヒーターが不作動であることを示すライトが点灯したままとなったため、スポットに引き返した。	
5/22	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8976	東京国際空港	徳島飛行場	上昇中、被雷により胴体の上面及び下面が損傷した。	
5/23	ジャルエクスプレス	ボーイング式737-800型	JA306J	広島空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置から突然回避指示が発せられたため、回避操作を行った。	
5/23	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Z	東京国際空港	熊本空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/23	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NC	神戸空港	新千歳空港	巡航中、航空機衝突防止装置が不作動であることを示す計器表示があった。	
5/23	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA216J	大阪国際空港	山形空港	運航整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
5/24	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737H	新千歳空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/24	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737X	福岡空港	成田国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/25	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8674	高松空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/25	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8996	那覇空港	宮古空港	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
5/25	日本航空	ボーイング式767-300型	JA610J	ホノルル	成田国際空港	運航整備中、非常用脱出口近傍の乗客用座席に誤った部品番号のクッションが取り付けられていることを発見した。	
5/25	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737N	成田国際空港	旭川空港	上昇中、誤って管制指示経路から逸脱した。	
5/26	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8274	東京国際空港	松山空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
5/26	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8998	中部国際空港	那覇空港	運航整備中、一部の非常用照明灯が正常に点灯しないことを発見した。	
5/27	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8938	那覇空港	岡山空港	運航整備中、非常用脱出口近傍の乗客用座席に誤った部品番号のクッションが取り付けられていることを発見した。	
5/27	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NH	那覇空港	関西国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不作動であることを示す計器表示があった。	
5/27	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737R	福岡空港	東京国際空港	上昇中、機内放送装置が不作動となった。	
5/27	日本航空	ボーイング式767-300型	JA623J	台北	関西国際空港	上昇中、被雷により方向舵及び左側の航空灯が損傷した。	
5/28	全日本空輸	エアバス・インダストリー式A320-200型	JA8395	神戸空港	那覇空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/28	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737P	成田国際空港	那覇空港	巡航中、航空機衝突防止装置が不作動であることを示す計器表示があった。	
5/28	ANAウイングス	ボーイング式737-500型	JA8500	宮崎空港	大阪国際空港	運航整備中、右側の高揚力装置に鳥衝突による損傷を発見した。	
5/28	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8669	富山空港	東京国際空港	降下中、被雷により胴体下部及び左右の主翼端部等が損傷した。	
5/28	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA01RJ	大阪国際空港	福島空港	巡航中、機長及び副操縦士側の飛行コース等を表示させる装置が不作動となった。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
5/28	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA07RJ	仙台空港	中部国際空港	上昇中、後方の貨物室扉が確実に閉じられていないことを示す計器表示が一時的に生じた。	
5/28	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA03RJ	成田国際空港	仙台空港	地上滑走中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があったため、スポットに引き返した。	
5/29	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	JA737V	東京国際空港	東京国際空港	飛行試験中、乗客用の一部の酸素マスクが正常に落下しない状態であることを発見した。	
5/29	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NK	那覇空港	東京国際空港	進入中、被雷により胴体前部及び水平尾翼が損傷した。	
5/29	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA707A	ソウル(金浦)	東京国際空港	降下中、被雷により航空機用救命無線機が不動作となった。	
5/29	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8996	那覇空港	中部国際空港	降下中、被雷により胴体及び無線機のアンテナ等が損傷した。	
5/29	全日本空輸	ボーイング式737-700型	JA10AN	成田国際空港	ムンバイ	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/29	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8269	新千歳空港	東京国際空港	降下中、被雷により前脚扉が損傷した。	
5/29	スターフライヤー	エアバスA320-214型	JA01MC	マニラ	北九州空港	運航整備中、電波高度計に誤った送受信機が取り付けられていることを発見した。	
5/29	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA07RJ	福岡空港	仙台空港	降下中、後方の貨物室扉が確実に閉じられていないことを示す計器表示があった。	
5/30	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8397	東京国際空港	旭川空港	着陸後、両エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
5/30	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737R	東京国際空港	神戸空港	巡航中、機内放送装置が不動作となった。	
5/30	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA206J	大阪国際空港	新千歳空港	上昇中、機長側の飛行コース等を表示させる装置及び副操縦士側の飛行管理装置が不動作となった。	
5/30	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA01RJ	那覇空港	大阪国際空港	離陸後、脚上げ操作を実施したが、前脚が正常に格納されていないことを示す計器表示とともに、1つの油圧系統の油圧及び油量が低下したことを示す計器表示があったため、引き返した。	レギュラー運航
5/30	日本航空	ボーイング式767-200型	N744AX	関西国際空港	上海(浦東)	運航整備中、燃料油量計の表示に不具合が発生した。	
5/31	日本航空	ボーイング式777-200型	JA704J	シドニー	成田国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/31	ジャルエクスプレス	ボーイング式737-800型	JA322J	東京国際空港	青森空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/31	北海道国際航空	ボーイング式737-500型	JA8196	女満別空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/31	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA204J	福岡空港	花巻空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
5/31	ANAウイングス	ボーイング式737-500型	JA302K	石垣空港	那覇空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/31	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Q	東京国際空港	福岡空港	離陸前、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
5/31	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Q	福岡空港	東京国際空港	離陸前、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
5/31	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737P	東京国際空港	新千歳空港	巡航中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
5/31	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NP	那覇空港	東京国際空港	離陸後、乗降用扉が確実に閉じられていないことを示すライトが点灯した。	
5/31	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA02KZ	シカゴ	アンカレッジ	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
5/31	日本航空	ボーイング式767-300型	JA613J	ホルルル	成田国際空港	運航整備中、非常用脱出口近傍の乗客用座席に誤った部品番号のクッションが取り付けられていることを発見した。	
6/1	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737R	那覇空港	関西国際空港	巡航中、機内放送装置が不動作となった。	
6/1	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA02KZ	バンコク	成田国際空港	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
6/1	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA04KZ	成田国際空港	ソウル(仁川)	降下中、誤って管制指示高度を逸脱した。	
6/1	日本航空	ボーイング式767-300型	JA609J	グアム	成田国際空港	運航整備中、非常用脱出口近傍の乗客用座席に誤った部品番号のクッションが取り付けられていることを発見した。	
6/2	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA732A	成田国際空港	サンフランシスコ	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/2	日本航空	ボーイング式767-300型	JA617J	東京国際空港	ソウル(金浦)	巡航中、機長側の酸素マスクのハーネスが正常に膨らまなかった。	
6/2	日本航空	ボーイング式767-300型	JA612J	ホーチミン	成田国際空港	巡航中、副操縦士側の酸素マスクのハーネスが正常に膨らまなかった。	
6/2	ジャルエクスプレス	ボーイング式737-800型	JA308J	帯広空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/3	日本航空	ボーイング式767-300型	JA622J	バンコク	成田国際空港	運航整備中、非常用脱出口近傍の乗客用座席に誤った部品番号のクッションが取り付けられていることを発見した。	
6/4	日本航空	ボーイング式787-8型	JA827J	ボストン	成田国際空港	運航整備中、乗客用酸素マスク等を収納するサービスユニットに、誤ったユニットが取り付けられていることを発見した。(機体製造時に誤ったものと考えられる。)	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
6/4	北海道国際航空	ボーイング式767-300型	JA8359	旭川空港	東京国際空港	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
6/4	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	JA737B	大分空港	東京国際空港	上昇中、燃料油量計の表示に不具合が発生した。	
6/4	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NP	新千歳空港	東京国際空港	降下中、右側の慣性航法装置に不具合が発生した。	
6/4	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-800型	JA804X	東京国際空港	熊本空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/4	ジャルエクスプレス	ボーイング式737-800型	JA329J	新千歳空港	東京国際空港	運航整備中、非常用脱出口近傍の乗客用座席に誤った部品番号のクッションが取り付けられていることを発見した。	
6/5	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA03MC	東京国際空港	北九州空港	運航整備中、化粧室の煙探知器に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
6/5	日本航空	ボーイング式787-8型	JA822J	北京	東京国際空港	運航整備中、乗客用の一部の酸素供給装置に不具合を発見した。	
6/5	日本航空	ボーイング式787-8型	JA825J	ボストン	成田国際空港	運航整備中、乗客用の一部の酸素供給装置に不具合を発見した。	
6/6	日本エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA850C	大阪国際空港	鹿児島空港	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/6	北海道エアシステム	サーブ式SAAB340B型	JA01HC	札幌飛行場	函館空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/6	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA807A	東京国際空港	松山空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/6	日本航空	ボーイング式767-300型	JA608J	成田国際空港	ホノルル	巡航中、機長側の酸素マスクのハーネスが正常に膨らまなかった。	
6/6	ジャルエクスプレス	ボーイング式737-800型	JA318J	帯広空港	東京国際空港	運航整備中、非常用脱出口近傍の乗客用座席に誤った部品番号のクッションが取り付けられていることを発見した。	
6/7	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737X	中部国際空港	新千歳空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不作為であることを示す計器表示があった。	
6/7	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737U	東京国際空港	神戸空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
6/7	琉球エアコミューター	デ・ハビランド式DHC-8-103型	JA8974	那覇空港	与論空港	上昇中、一時的に前脚が正常に格納されていないことを示すライト及び前脚の格納扉が閉じていないことを示すライトが点灯し、風切音と振動が生じた。	
6/7	琉球エアコミューター	デ・ハビランド式DHC-8-103型	JA8973	那覇空港	南大東空港	降下中、機内で臭気が発生し、化粧室内の煙探知器が作動した。	
6/8	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA784A	成田国際空港	ニューヨーク	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/8	北海道国際航空	ボーイング式737-500型	JA8196	小松飛行場	新千歳空港	地上滑走中、航空機衝突防止装置が不作為であることを示す計器表示があった。	
6/8	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA07KZ	成田国際空港	上海(浦東)	着陸後、第4エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
6/8	日本エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA845C	徳之島空港	鹿児島空港	上昇中、気圧高度補正の設定操作が不適切であったため、運用限界高度を逸脱した。	
6/8	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA05RJ	中部国際空港	大分空港	上昇中、乗降用扉が確実に閉じられていないことを示す計器表示が一時的に生じた。	
6/9	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA734J	ロンドン	成田国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/9	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8342	東京国際空港	高松空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
6/9	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA851A	新千歳空港	中標津空港	上昇中、機内に白いもやのようなものが発生したため、運航乗務員が酸素マスクを使用し、引き返した。	レギュラー運航
6/10	エアージャパン	ボーイング式767-300F型	JA602F	成田国際空港	那覇空港	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
6/10	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA07RJ	福岡空港	仙台空港	上昇中、乗降用扉が確実に閉じられていないことを示す計器表示が一時的に生じた。	
6/10	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA07RJ	大分空港	中部国際空港	降下中、乗降用扉が確実に閉じられていないことを示す計器表示があった。	
6/10	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA01FJ	福岡空港	静岡空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/11	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NG	宮古空港	那覇空港	巡航中、被雷により胴体前部及び昇降舵が損傷した。	
6/11	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NM	成田国際空港	神戸空港	運航整備中、右側のウィングレット及び第1エンジンの逆推力装置に被雷による損傷を発見した。	
6/11	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA05RJ	仙台空港	新千歳空港	上昇中、乗降用扉が確実に閉じられていないことを示す計器表示が一時的に生じた。	
6/11	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA07RJ	大分空港	中部国際空港	巡航中、乗降用扉が確実に閉じられていないことを示す計器表示が一時的に生じた。	
6/11	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA07RJ	中部国際空港	仙台空港	巡航中、乗降用扉が確実に閉じられていないことを示す計器表示が一時的に生じた。	
6/11	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA03FJ	福岡空港	名古屋飛行場	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/12	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8275	鹿児島空港	東京国際空港	上昇中、被雷により胴体前部及び第2エンジンの逆推力装置が損傷した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
6/12	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NP	鹿児島空港	神戸空港	上昇中、被雷により胴体前部が損傷した。	
6/12	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8322	東京国際空港	鹿児島空港	進入中、対地接近警報装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/12	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8998			定時整備中、一部の非常用照明灯が正常に点灯しないことを発見した。	
6/12	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA05RJ	中部国際空港	仙台空港	上昇中、乗降用扉が確実に閉じられていないことを示す計器表示が一時的に生じた。	
6/12	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA07RJ	新千歳空港	仙台空港	上昇中、乗降用扉が確実に閉じられていないことを示す計器表示が一時的に生じた。	
6/12	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA07RJ	仙台空港	中部国際空港	上昇中、乗降用扉が確実に閉じられていないことを示す計器表示が一時的に生じた。	
6/14	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8998	岡山空港	那覇空港	運航整備中、一部の非常用照明灯が正常に点灯しないことを発見した。	
6/14	日本航空	ボーイング式787-8型	JA825J	成田国際空港	モスクワ	運航整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
6/14	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8579	岡山空港	東京国際空港	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
6/15	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737H			定時整備中、客室内の非常用照明灯バッテリーの一部に容量不足を発見した。	
6/15	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737R	東京国際空港	福岡空港	地上滑走中、機内放送装置が不作動となった。	
6/15	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-800型	JA804X	熊本空港	那覇空港	巡航中、航空機用救命無線機が作動したままとなった。	
6/15	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NL	鹿児島空港	神戸空港	上昇中、被雷により胴体前部及び水平尾翼が損傷した。	
6/16	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA202J	大阪国際空港	熊本空港	進入中、電波高度計の指示が不安定になり、対地接近警報装置が作動した。	
6/16	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA07KZ	アムステルダム	ミラノ	着陸後、第4エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
6/16	北海道国際航空	ボーイング式737-500型	JA300K	新千歳空港	福島空港	降下中、左右燃料タンクの燃料量の差異の修正操作を誤ったため、運用限界を超過した。	
6/16	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA07RJ	仙台空港	福岡空港	上昇中、後方の貨物室扉が確実に閉じられていないことを示す計器表示が一時的に生じた。	
6/17	全日本空輸	ボーイング式777-300型	JA755A	東京国際空港	福岡空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/17	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8342	広島空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/17	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA609A	成田国際空港	上海(浦東)	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
6/18	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8975			定時整備中、高揚力装置に誤った部品が取り付けられていることを発見した。	
6/18	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8291	中部国際空港	那覇空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
6/18	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA02JJ	関西国際空港	福岡空港	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/19	北海道国際航空	ボーイング式737-500型	JA8404	仙台空港	新千歳空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/19	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737R	東京国際空港	福岡空港	巡航中、機内放送装置が不作動となった。	
6/19	全日本空輸	エアバス・インダストリー式A320-200型	JA8947	東京国際空港	佐賀空港	降下中、機内放送装置が不作動となった。	
6/19	北海道国際航空	ボーイング式767-300型	JA98AD	新千歳空港	東京国際空港	進入中、対地接近警報装置が不作動であることを示す計器表示があった。	
6/19	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8299	高松空港	東京国際空港	運航整備中、高揚力装置に誤った部品が取り付けられていることを発見した。	
6/20	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA610A	北京	成田国際空港	着陸時、ハードランディングとなり胴体が損傷した。	航空事故
6/20	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737R	東京国際空港	神戸空港	地上滑走中、機内放送装置が不作動となった。	
6/21	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-314型	JA804K	東京国際空港	大島空港	離陸後、脚上げ操作を実施したが、前脚の格納扉が確実に閉じられていないことを示すライトが点灯と消灯を繰り返したため、引き返した。	イレギュラー運航
6/21	日本航空	ボーイング式767-300型	JA604J	関西国際空港	ホノルル	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
6/21	全日本空輸	エアバス・インダストリー式A320-200型	JA8947	東京国際空港	八丈島空港	着陸復行中、自動操縦装置の誤った操作等により高度が低下し、対地接近警報装置が作動した。	
6/21	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737T			定時整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
6/21	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA206J	山形空港	東京国際空港	降下中、副操縦士側の飛行コース等を表示させる装置が不作動となった。	
6/22	北海道国際航空	ボーイング式767-300型	JA8359	旭川空港	東京国際空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
6/22	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737X	神戸空港	熊本空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/22	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA616A	成田国際空港	広州	上昇中、左右燃料タンクの燃料量の差異が拡大し、運用限界を超過した。(燃料ポンプの操作等が不適切であった。)	
6/23	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737R	福岡空港	東京国際空港	降下中、機内放送装置が不動作となった。	
6/24	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737R	鹿児島空港	東京国際空港	地上滑走中、機内放送装置が不動作となった。	
6/24	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA03FJ	福岡空港	新潟空港	巡航中、乗降用扉が確実に閉じられていないことを示す計器表示があったため、目的地を変更した。	レギュラー運航
6/25	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NF	百里飛行場	神戸空港	運航整備中、右側のウイングレットに被雷による損傷を発見した。	
6/25	日本エアコミューター	サーブ式SAAB340B型	JA002C	鹿児島空港	喜界空港	巡航中、被雷により胴体前部及び機体尾部の航空灯等が損傷したため、目的地を変更した。	レギュラー運航
6/25	全日本空輸	ボーイング式737-700型	JA10AN			定時整備中、乗客用の一部の酸素マスクが正常に落下しない状態であることを発見した。	
6/26	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA03RJ	仙台空港	成田国際空港	離陸後、脚上げ操作を実施したが、右主脚が正常に格納されていないことを示す計器表示があったため、引き返した。	レギュラー運航
6/26	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	JA737B			書類確認の結果、両エンジンに誤った部品が取り付けられていることが判明した。	
6/27	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8597	那覇空港	石垣空港	運航整備中、第2スポイラーのコントロールケーブルが破断していることを発見した。	
6/27	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737T	熊本空港	東京国際空港	進入中、ウィンドシアー警報が不動作であることを示す計器表示が一時的に生じた。	
6/28	日本航空	ボーイング式777-200型	JA8982			定時整備中、乗客用の一部の酸素マスクが正常に落下しない状態であることを発見した。	
6/29	新中央航空	ドルニエ式Dornier228-212型	JA33CA	調布飛行場	大島空港	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/29	エアージャパン	ボーイング式767-300型	JA8356	ソウル(仁川)	那覇空港	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
6/29	日本航空	ボーイング式767-300型	JA611J	中部国際空港	ホノルル	巡航中、機長側の酸素マスクのハーネスが正常に膨らまなかった。	
6/30	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA56AN	美保飛行場	東京国際空港	離陸滑走中、鳥衝突の可能性があったため、離陸を中止した。	
7/2	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737R	東京国際空港	神戸空港	巡航中、機内放送装置が不動作となった。	
7/3	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA785A	ロンドン	成田国際空港	巡航中、油圧系統の油量が低下していることを示す計器表示があった。	
7/3	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8287	松山空港	東京国際空港	上昇中、第1エンジンから異音が発生し、エンジン出力が低下したため、当該エンジンを停止し航空交通管制上の優先権を要請の上、引き返した。	レギュラー運航
7/4	日本航空	ボーイング式767-200型	N744AX	関西国際空港	上海(浦東)	運航整備中、燃料油量計の表示に不具合が発生した。	
7/5	日本航空	ボーイング式777-200型	JA8982	福岡空港	東京国際空港	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/5	日本航空	ボーイング式767-300型	JA656J	釧路空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/5	エアアジア・ジャパン	エアバス式A320-214型	JA01AJ	成田国際空港	那覇空港	進入中、着陸許可を受けた滑走路に他の航空機が進入してきたため、管制機関からの指示に従い、復行した。	重大インシデント
7/5	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737P	那覇空港	神戸空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
7/5	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NF	東京国際空港	福岡空港	降下中、被雷により胴体前部が損傷した。	
7/5	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA853A	中部国際空港	仙台空港	降下中、被雷によりレドームが損傷した。	
7/5	日本航空	ボーイング式767-200型	N744AX	関西国際空港	上海(浦東)	運航整備中、燃料油量計の表示に不具合が発生した。	
7/6	日本航空	ボーイング式767-300型	JA602J	ホノルル	成田国際空港	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
7/6	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA06MC	東京国際空港	北九州空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
7/7	全日本空輸	ボーイング式747-400D型	JA8961	東京国際空港	新千歳空港	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/7	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA622A	成田国際空港	ジャカルタ	降下中、誤って運用限界高度を超える高度で高揚力装置を展開した。	
7/7	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA731J	フランクフルト	成田国際空港	降下中、被雷により胴体前部及び右主翼の外板等が損傷した。	
7/8	日本エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA847C	福岡空港	宮崎空港	離陸時、管制機関から指示を受け滑走路に進入したが、当該滑走路は他の航空機が着陸許可を受けて進入中であったため、当該機が管制機関からの指示に従い復行した。	重大インシデント
7/8	日本航空	ボーイング式767-300型	JA651J	シンガポール	東京国際空港	巡航中、機長側の酸素マスクのハーネスが正常に膨らまなかった。	
7/8	朝日航洋	マクドネル・ダグラス式MD900型	JA6911	旭川赤十字病院場外離着陸場	北海道豊富野町内場外離着陸場	離陸直後に第1エンジンが停止したため、目的地を最寄りの空港に変更した。(エンジン内部において大規模な破損が生じた。)	重大インシデント

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
7/9	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737M	鹿児島空港	東京国際空港	進入中、ウィンドシアー警報が不動作であることを示す計器表示があった。	
7/10	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8677	東京国際空港	広島空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/10	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737M	東京国際空港	那覇空港	進入中、ウィンドシアー警報が不動作であることを示す計器表示があった。	
7/10	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NJ	東京国際空港	神戸空港	離陸滑走中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
7/10	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737P	神戸空港	長崎空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/11	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NB	福岡空港	東京国際空港	進入中、ウィンドシアー警報が不動作であることを示す計器表示があった。	
7/11	エアージャパン	ボーイング式767-300型	JA8358	那覇空港	ソウル(仁川)	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
7/11	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA06KZ	香港	成田国際空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
7/12	全日本空輸	エアバス・インダストリー式A320-200型	JA8300	熊本空港	中部国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/12	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-800型	JA802X	東京国際空港	熊本空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/12	日本航空	ボーイング式767-300型	JA602J	ホーチミン	成田国際空港	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
7/12	日本航空	ボーイング式767-300型	JA602J	成田国際空港	マニラ	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
7/12	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA626A	成田国際空港	シンガポール	上昇中、副操縦士側のピトー管のヒーターの不具合を示す計器表示があったため引き返し、最大着陸重量を超過した状態で着陸した。	レギュラー運航
7/12	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA04MC			定時整備中、乗客用の一部の酸素マスクが正常に落下しない状態であることを発見した。	
7/12	天草エアライン	デ・ハビランド式DHC-8-103型	JA81AM	熊本空港	大阪国際空港	離陸後、脚上げ操作を実施したが、主脚の格納扉が閉まらなかったため、引き返した。	レギュラー運航
7/13	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA57AN	東京国際空港	徳島飛行場	離陸滑走中、ウィンドシアーの警報が作動したため離陸を中止した。	
7/13	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8994	宮古空港	那覇空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/13	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA8198	福岡空港	東京国際空港	上昇中、被雷により胴体上部及び無線機のアンテナが損傷した。	
7/13	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737R	東京国際空港	熊本空港	運航整備中、両ウイングレットに被雷による損傷を発見した。	
7/13	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737K	福岡空港	東京国際空港	上昇中、被雷により胴体を損傷した。	
7/13	ジャルエクスプレス	ボーイング式737-800型	JA319J	東京国際空港	長崎空港	進入中、被雷により胴体上部、無線機のアンテナ及び左翼ウイングレット等が損傷した。	
7/13	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA202J	新千歳空港	新潟空港	上昇中、副操縦士側の飛行管理装置及び飛行コース等を表示させる装置が不動作となった。	
7/14	日本航空	ボーイング式767-300型	JA608J	マニラ	成田国際空港	巡航中、機長側の酸素マスクのハーネスが正常に膨らまなかった。	
7/14	全日本空輸	ボーイング式737-700型	JA16AN	関西国際空港	石垣空港	離陸滑走中、鳥衝突を避けるため離陸を中止した。	
7/14	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8674	東京国際空港	福岡空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
7/14	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Z	東京国際空港	那覇空港	着陸後、ウィンドシアー警報及び気象レーダーが不動作であることを示す計器表示があった。	
7/15	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA609A	上海(浦東)	成田国際空港	上昇中、鳥衝突により第1エンジンの高圧圧縮機のブレードが損傷した。	
7/15	ピーチ・アビエーション	エアバス式A320-214型	JA802P	新千歳空港	関西国際空港	上昇中、誤って管制指示経路から逸脱した。	
7/17	ジャルエクスプレス	ボーイング式737-800型	JA336J	東京国際空港	帯広空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
7/17	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-800型	JA803X	長崎空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/17	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8992	福岡空港	那覇空港	運航整備中、客室内の一部の非常用照明灯が正常に点灯しないことを発見した。	
7/17	全日本空輸	ボーイング式737-500型	JA354K			装備品整備中、非常用脱出スライドを作動させたところ、空気漏れにより正常に展開しなかった。	
7/18	エアージャパン	ボーイング式767-300型	JA621A	シンガポール	成田国際空港	上昇中、操縦系統、空調系統等の不具合を示すライトが点灯したため引き返し、最大着陸重量を超過した状態で着陸した。	レギュラー運航
7/18	北海道国際航空	ボーイング式737-500型	JA8504	新千歳空港	富山空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/19	日本航空	ボーイング式767-300型	JA619J	成田国際空港	上海(浦東)	巡航中、機長側の酸素マスクのハーネスが正常に膨らまなかった。	
7/19	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA207J	大阪国際空港	青森空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
7/20	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA856A	大阪国際空港	松山空港	上昇中、被雷によりレドーム及び胴体上部が損傷した。	
7/20	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737U	新千歳空港	東京国際空港	離陸前、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
7/20	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737T	新千歳空港	成田国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
7/20	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737R	福岡空港	東京国際空港	上昇中、機内放送装置が不動作となった。	
7/20	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737T	成田国際空港	新千歳空港	巡航中、乗客が化粧室内で喫煙したため、煙検知器が作動した。	
7/20	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NJ	東京国際空港	神戸空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/21	北海道国際航空	ボーイング式767-300型	JA01HD	東京国際空港	新千歳空港	運航整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
7/21	日本航空	ボーイング式767-300型	JA614J	成田国際空港	ソウル(仁川)	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
7/21	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA841A	石見空港	大阪国際空港	上昇中、誤って高揚力装置を展開したため、高揚力装置展開時の運用限界速度を超過した。	
7/23	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA02RJ	仙台空港	大阪国際空港	離陸後、脚上げ操作を実施したが、右主脚が正常に格納されていないことを示す計器表示があったため、引き返した。	ILキュア運航
7/23	北海道国際航空	ボーイング式767-300型	JA601A	東京国際空港	新千歳空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
7/23	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737L	関西国際空港	新千歳空港	巡航中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
7/23	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA06MC	福岡空港	東京国際空港	降下中、対地接近警報装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
7/24	日本エアコミューター	サーブ式SAAB340B型	JA8704	福岡空港	出雲空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/25	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8273	美保飛行場	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/25	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA59AN	新千歳空港	関西国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/28	ジャルエクスプレス	ボーイング式737-800型	JA333J	青森空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/28	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA217J	大阪国際空港	青森空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/29	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8999	石垣空港	那覇空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/29	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Z	那覇空港	福岡空港	上昇中、気象レーダー及びウィンドシアア警報が不動作であることを示す計器表示があった。	
7/30	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Z	東京国際空港	神戸空港	上昇中、気象レーダー及びウィンドシアア警報が不動作であることを示す計器表示があった。	
7/31	日本航空	ボーイング式777-200型	JA8983	福岡空港	東京国際空港	運航整備中、方向舵に被雷による損傷を発見した。	
7/31	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA02RJ	福島空港	大阪国際空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
8/1	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA03KZ	バンコク	成田国際空港	着陸後、第4エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
8/3	エアージャパン	ボーイング式767-300型	JA8362	那覇空港	香港	離陸滑走中、副操縦士側の速度計の指示が不安定になったため、離陸を中止した。	
8/3	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8324	東京国際空港	福岡空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/3	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NM	東京国際空港	福岡空港	降下中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
8/3	セントラルヘリコプターサービス	川崎式BK117C-1型	JA9979	江津44場外離着陸場(鳥根県)	鳥根県立中央病院ヘリポート	巡航中、燃料油量計の表示に不具合が発生した。	
8/4	エアージャパン	ボーイング式767-300型	JA609A	東京国際空港	ホノルル	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
8/4	ANAウイングス	ボーイング式737-500型	JA359K	中部国際空港	熊本空港	降下中、対地接近警報装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
8/4	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8987	釧路空港	東京国際空港	離陸時、鳥衝突により第1エンジンの高圧圧縮機のブレード等が損傷した。	
8/4	日本航空	ボーイング式737-800型	JA303J	北京	成田国際空港	運航整備中、第2エンジンの逆推力装置に被雷による損傷を発見した。	
8/5	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	JA737B	宮崎空港	鹿児島空港	進入中、対地接近警報装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/6	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NN	中部国際空港	那覇空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/6	日本航空	ボーイング式777-300型	JA752J	那覇空港	東京国際空港	離陸後、第1エンジンの排気ガス温度の運用限界を一時的に超過した。	
8/6	日本航空	ボーイング式737-800型	JA313J	東京国際空港	岡山空港	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
8/6	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA05FJ	福岡空港	名古屋飛行場	着陸復行中、不適切な操作により機速が維持できず、高揚力装置展開時の運用限界速度を超過した。	
8/8	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA801A	熊本空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/8	琉球エアコミューター	デ・ハビランド式DHC-8-103型	JA8973	那覇空港	奄美空港	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/8	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA08RJ	成田国際空港	広島空港	巡航中、対地接近警報装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
8/8	日本エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA846C	福岡空港	宮崎空港	上昇中、第1エンジンの滑油温度が高いことを示す計器表示があったため当該エンジンを停止し、航空交通管制上の優先権を要請の上、引き返した。	イレギュラー運航
8/9	日本航空	ボーイング式767-300型	JA655J	新千歳空港	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/10	ジャルエクスプレス	ボーイング式737-800型	JA343J	那覇空港	関西国際空港	上昇中、左右燃料タンクの燃料量に差異が生じ、運用限界を超過した。(燃料配管弁の状態確認等が不十分であった。)	
8/10	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8290	小松飛行場	東京国際空港	離陸時、鳥衝突により第2エンジンのファンブレードを損傷した。	
8/10	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737R			定時整備中、機体外部の非常用脱出スライドの照明が点灯しないことを発見した。	
8/10	琉球エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-314型	JA8936	久米島空港	那覇空港	運航整備中、左側エルロン及び胴体下面に被雷による損傷を発見した。	
8/10	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA03RJ	成田国際空港	小松飛行場	進入中、脚下げ操作を実施していないにもかかわらず、脚下げ時に発生する風切音と前脚扉が開いていることを示す計器表示が数秒間発生した。	
8/11	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA03KZ	ニューヨーク	アンカレッジ	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/11	北海道国際航空	ボーイング式767-300型	JA01HD	東京国際空港	新千歳空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/12	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA02JJ	成田国際空港	那覇空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/12	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NG	神戸空港	東京国際空港	運航整備中、胴体後部に被雷による損傷を発見した。	
8/13	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8268			定時整備中、非常用脱出スライドを動作させたところ、スライドが展開しなかった。	
8/16	ジャルエクスプレス	ボーイング式737-800型	JA336J	山口宇部空港	東京国際空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
8/16	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8286			定時整備中、水平安定板の外板の一部に腐食を発見した。	
8/17	日本航空	ボーイング式777-200型	JA711J	東京国際空港	パリ	巡航中、左右燃料タンクの燃料油量計の表示に一時的な差異が生じた。	
8/17	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8269	徳島飛行場	東京国際空港	進入中、昇降舵の操作に通常より大きな力が必要となった。	
8/17	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA207J	大阪国際空港	熊本空港	上昇中、副操縦士側の飛行コース等を表示させる装置が不動作となった。	
8/18	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA735A	成田国際空港	パリ	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/18	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Z	成田国際空港	鹿児島空港	上昇中、左右燃料タンクの燃料量に運用限界を超過する差異が一時的に生じた。	
8/18	日本航空	ボーイング式767-200型	N744AX	関西国際空港	上海(浦東)	巡航中、高速時にエルロンが固定されていないことを示す計器表示があった。	
8/19	日本エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA842C	福岡空港	宮崎空港	巡航中、客室高度が上昇し、警報が作動した。(誤って抽気スイッチをOFFにしてしまったものと考えられる。)	
8/19	北海道国際航空	ボーイング式767-300型	JA01HD	東京国際空港	新千歳空港	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
8/19	全日本空輸	ボーイング式737-700型	JA08AN	那覇空港	関西国際空港	上昇中、全ての無線機が不動作となり、管制機関との通信ができなくなったため、引き返した。	イレギュラー運航
8/20	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA53AN	東京国際空港	徳島飛行場	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/20	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA732A	成田国際空港	ロサンゼルス	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/20	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8290	東京国際空港	秋田空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
8/20	日本航空	ボーイング式777-200型	JA711J	東京国際空港	香港	巡航中、中央及び右燃料タンクの燃料油量計の表示に一時的な不具合が生じた。	
8/20	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8994	中部国際空港	那覇空港	上昇中、燃料ポンプの作動状態確認等が不十分であったため、左右燃料タンクの燃料量の差異が拡大し、運用限界を超過した。	
8/20	北海道国際航空	ボーイング式737-500型	JA8595	新千歳空港	仙台空港	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/20	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA01KZ			定時整備中、補助動力装置の消火ボットの圧力が低下した場合に表示器へ信号を出すスイッチが、正常作動しない状態であることを発見した。	
8/20	日本航空	ボーイング式777-200型	JA8981	東京国際空港	福岡空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/21	日本航空	ボーイング式767-300型	JA615J	成田国際空港	マニラ	上昇中、機長席側の操縦室窓付近から煙が一時的に発生したため引き返し、最大着陸重量を超過した状態で着陸した。	イレギュラー運航

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
8/21	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Y	熊本空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/22	琉球エアコミューター	デ・ハヴランド式DHC-8-103型	JA8935	北大東空港	那覇空港	巡航中、被雷により胴体下面及び右側エルロン等が損傷した。	
8/23	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA07KZ	成田国際空港	ソウル(仁川)	降下中、両方の飛行管理装置が不動作となった。	
8/24	ジャルエクスプレス	ボーイング式737-800型	JA332J	東京国際空港	徳島飛行場	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/26	日本航空	ボーイング式767-300型	JA656J	青森空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/26	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-800型	JA804X	東京国際空港	宮崎空港	着陸復行中、不適切な操作により機速が維持できず、高揚力装置展開時の運用限界速度を超過した。	
8/28	日本航空	ボーイング式767-300型	JA651J	成田国際空港	バンクーバー	巡航中、機長側の酸素マスクのハーネスが正常に膨らまなかった。	
8/28	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737X	東京国際空港	那覇空港	巡航中、左側の慣性航法装置の不具合を示すライトが点灯したため、引き返した。	レギュラー運航
8/28	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA05KZ	成田国際空港	上海(浦東)	上昇中、脚格納扉が閉じていないことを示す計器表示があったため、再度、脚上げ操作を実施したところ正常となった。	
8/29	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8287	仙台空港	大阪国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/29	ANAウイングス	ボーイング式737-500型	JA8195	福岡空港	宮崎空港	離陸後、脚上げ操作を実施したが、前脚が正常に格納されていないことを示すライトが点灯したままとなったため、引き返した。	レギュラー運航
8/30	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA736A	成田国際空港	サンフランシスコ	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/30	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA03RJ	福島空港	大阪国際空港	降下中、誤って運用限界速度を超える速度で高揚力装置を操作した。	
8/30	ピーチ・エアレーション	エアバス式A320-214型	JA803P	関西国際空港	ソウル(仁川)	出発前の飛行計画の確認が不十分であったため、当該運航で許容される重量を超過した状態で離陸し、最大着陸重量を超過した状態で着陸した。	
8/31	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8272	東京国際空港	高松空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
8/31	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA02KZ	アンカレッジ	シカゴ	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
8/31	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA06KZ	成田国際空港	関西国際空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
8/31	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA04FJ			定時整備中、客室後方の化粧室の消火ボトルの圧力が0となっていることを発見した。	
9/1	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA859A	大阪国際空港	高知空港	上昇中、与圧調整装置の設定が不適切だったため客室高度が上昇し、警報が作動した。(飛行前の確認が不十分であった。)	
9/2	ANAウイングス	ボーイング式737-500型	JA354K	中部国際空港	宮崎空港	進入中、誤って運用限界速度を超える速度で高揚力装置を展開した。	
9/2	全日本空輸	エアバス・インダストリー式A320-200型	JA8390	東京国際空港	熊本空港	降下中、誤って高揚力装置を展開したため、運用限界高度・速度を超過した。	
9/3	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8363	関西国際空港	那覇空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/3	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737K			定時整備中、客室内の非常用照明灯バッテリーの一部に容量不足を発見した。	
9/4	エアアジア・ジャパン	エアバス式A320-214型	JA01AJ	成田国際空港	那覇空港	降下中、化粧室の煙検知器が作動したため、点検したところ、ごみ箱に原因と思われるたばこの吸殻を発見した。	
9/6	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NE	福岡空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
9/6	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NH	福岡空港	東京国際空港	運航整備中、左側ウイングレットの後部及び第1エンジンの逆推力装置に被雷による損傷を発見した。	
9/6	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA02KZ	ロサンゼルス	成田国際空港	上昇中、不適切な操作により機速が維持できず、高揚力装置展開時の運用限界速度を超過した。	
9/6	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	JA737G	東京国際空港	宮崎空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/7	日本エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA843C	福岡空港	宮崎空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/7	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA04FJ	新千歳空港	松本空港	上昇中、乗降用扉が確実に閉じられていないことを示す計器表示があったため、目的地を変更した。	レギュラー運航
9/7	ジャルエクスプレス	ボーイング式737-800型	JA322J	松山空港	東京国際空港	運航整備中、補助動力装置の火災検知器に不具合が発生したことを示すライトが点灯した。	
9/7	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8264	東京国際空港	青森空港	運航整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
9/7	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-800型	JA803X	那覇空港	熊本空港	巡航中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
9/7	日本エアコミューター	サーブ式SAAB340B型	JA8649	松山空港	福岡空港	巡航中、急激な気流の変化により管制指示高度を逸脱した。	
9/8	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA714A	東京国際空港	広島空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/8	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737N	那覇空港	中部国際空港	巡航中、対地接近警報装置が不動作であることを示すライトが点灯した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
9/8	全日本空輸	ボーイング式747-400D型	JA8966	東京国際空港	新千歳空港	着陸後、第3エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
9/8	エアージャパン	ボーイング式767-300型	JA617A	成田国際空港	ホノルル	上昇中、不適切な操作により機速が維持できず、高揚力装置展開時の運用限界速度を超過した。	
9/9	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8568	東京国際空港	那覇空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
9/10	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA218J	大阪国際空港	宮崎空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/11	エアージャパン	ボーイング式767-300F型	JA602F	成田国際空港	香港	上昇中、航空機衝突防止装置が不作動であることを示す計器表示があった。	
9/11	北海道国際航空	ボーイング式767-300型	JA601A	旭川空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/14	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA213J	仙台空港	福岡空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/14	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8993	那覇空港	石垣空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/16	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA51AN			定時整備中、航空機用救命無線機が不作動であることを発見した。	
9/17	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA8969	熊本空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/17	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737N	東京国際空港	熊本空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/17	日本航空	ボーイング式737-800型	JA323J			定時整備中、乗客用の一部の酸素マスクが正常に落下しない状態であることを発見した。	
9/18	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA620A	ジャカルタ	成田国際空港	離陸滑走中、第1エンジンの圧縮空気を機体側に供給するためのバルブに不具合が発生したことを示す計器表示があったため、離陸を中止した。	
9/18	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA01MC	東京国際空港	北九州空港	上昇中、化粧室の煙検知器の不具合を示す計器表示があった。	
9/18	ジャルエクスプレス	ボーイング式737-800型	JA340J	青森空港	東京国際空港	運航整備中、化粧室の煙検知器を点検したところ、警報音が作動しない不具合を発見した。	
9/19	ジャルエクスプレス	ボーイング式737-800型	JA348J	中部国際空港	新千歳空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/19	日本航空	ボーイング式777-200型	JA007D	東京国際空港	那覇空港	出発の際、燃料油量計の表示に不具合が発生した。	
9/20	日本航空	ボーイング式767-200型	N744AX	関西国際空港	上海(浦東)	運航整備中、燃料油量計の表示に不具合が発生した。	
9/20	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Z	神戸空港	熊本空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/21	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA06MC	東京国際空港	関西国際空港	巡航中、航空機衝突防止装置が不作動であることを示す計器表示があった。	
9/21	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA05FJ			耐久検査の書類検査において、エンジンスターターに誤ったパッキンが使用されていることが判明した。	
9/22	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8674	東京国際空港	中標津空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
9/22	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA06MC	北九州空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不作動であることを示す計器表示があった。	
9/22	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA06MC	東京国際空港	北九州空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不作動であることを示す計器表示があった。	
9/23	北海道国際航空	ボーイング式767-300型	JA98AD	函館空港	東京国際空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
9/23	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737T	成田国際空港	那覇空港	巡航中、乗客が化粧室内で喫煙したため、煙検知器が作動した。	
9/23	エアージャパン	ボーイング式767-300型	JA8286	バンコク	那覇空港	到着後、貨物室床面強度限界を超える貨物を誤って搭載していたことを発見した。	
9/24	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NA	熊本空港	東京国際空港	離陸時、航空機衝突防止装置が不作動であることを示す計器表示があった。	
9/24	北海道国際航空	ボーイング式737-500型	JA8504	東京国際空港	新千歳空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/25	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8674	東京国際空港	鳥取空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
9/25	全日本空輸	ボーイング式767-300F型	JA604F	東京国際空港	佐賀空港	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
9/26	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NM	東京国際空港	神戸空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/26	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA741J	成田国際空港	シカゴ	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/26	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA06KZ	成田国際空港	上海(浦東)	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
9/26	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA04KZ	アムステルダム	ミラノ	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/27	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8272	東京国際空港	福岡空港	運航整備中、左側の高揚力装置に鳥衝突による損傷を発見した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
9/27	日本航空	ボーイング式777-300型	JA8944	新千歳空港	東京国際空港	運航整備中、非常脱出装置を動作させるバッテリーを点検したところ、正常であることを示すライトが点灯しなかった。	
9/27	北海道国際航空	ボーイング式767-300型	JA01HD	新千歳空港	東京国際空港	運航整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
9/27	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA206J	新千歳空港	青森空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/28	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NA	新千歳空港	中部国際空港	降下中、誤って運用限界速度を超える速度で高揚力装置を展開した。	
9/29	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA02MC	北九州空港	東京国際空港	巡航中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
9/29	エアアジア・ジャパン	エアバス式A320-214型	JA02AJ			定時整備中、エンジンスターター内の金属粉を検知するプラグのパッキンに誤った部品が使用されていることが判明した。	
9/29	エアアジア・ジャパン	エアバス式A320-214型	JA01AJ			定時整備中、エンジンスターター内の金属粉を検知するプラグのパッキンに誤った部品が使用されていることが判明した。	
9/29	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA738J	ロサンゼルス	成田国際空港	運航整備中、客室乗務員用の休憩スペース内に装備された携帯消火器の操作ハンドルが破損しているのを発見した。	
9/30	ジャルエクスプレス	ボーイング式737-800型	JA313J	高松空港	東京国際空港	巡航中、外気温度計が不動作となり、自動操縦装置が使用できなくなった。	
9/30	日本航空	ボーイング式777-200型	JA709J	パリ	東京国際空港	運航整備中、燃料油量計の表示に不具合が発生した。	
9/30	ピーチ・アビエーション	エアバス式A320-214型	JA801P			書類確認の結果、エンジンスターター内の金属粉を検知するプラグのパッキンに誤った部品が使用されていることが判明した。	
9/30	ピーチ・アビエーション	エアバス式A320-214型	JA802P			書類確認の結果、エンジンスターター内の金属粉を検知するプラグのパッキンに誤った部品が使用されていることが判明した。	
9/30	ピーチ・アビエーション	エアバス式A320-214型	JA803P			書類確認の結果、エンジンスターター内の金属粉を検知するプラグのパッキンに誤った部品が使用されていることが判明した。	
9/30	ピーチ・アビエーション	エアバス式A320-214型	JA804P			書類確認の結果、エンジンスターター内の金属粉を検知するプラグのパッキンに誤った部品が使用されていることが判明した。	
10/1	全日本空輸	ボーイング式747-400D型	JA8960	新千歳空港	東京国際空港	着陸後、第4エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
10/1	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA02KZ	成田国際空港	香港	着陸後、第3エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
10/3	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA713A	大阪国際空港	東京国際空港	離陸時、客室ギャレー内のカートが移動した。(離陸前の確認が不十分であった。)	
10/3	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NK	成田国際空港	旭川空港	上昇中、左右燃料タンクの燃料量に運用限界を超過する差異が一時的に生じた。	
10/4	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737T	神戸空港	新千歳空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
10/5	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73ND	那覇空港	神戸空港	巡航中、右側主翼付け根部の内部における高温空気の漏洩の疑いを示すライトが点灯した。	
10/5	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA8969	那覇空港	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
10/5	ジャルエクスプレス	ボーイング式737-800型	JA338J	東京国際空港	鹿児島空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
10/5	全日本空輸	ボーイング式747-400D型	JA8966			定時整備中、右側第2客室扉の下部に亀裂を発見した。	
10/6	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA208J	秋田空港	大阪国際空港	上昇中、機長側の飛行管理装置及び飛行コース等を表示させる装置が不動作となった。	
10/7	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA845A	仙台空港	大阪国際空港	離陸滑走中、操縦室内で警報音が作動したため離陸を中止した。	
10/7	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA59AN	関西国際空港	新千歳空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
10/8	エア・ドゥ	ボーイング式767-300型	JA8359	旭川空港	東京国際空港	運航整備中、操縦室内の非常脱出口灯が点灯しないことを発見した。	
10/8	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8992	関西国際空港	那覇空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
10/8	全日本空輸	ボーイング式747-400D型	JA8966			定時整備中、前方乗降用扉の前方フレームに亀裂を発見した。	
10/10	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA02KZ	ロサンゼルス	サンフランシスコ	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
10/10	全日本空輸	ボーイング式747-400D型	JA8966			定時整備中、胴体下部のフレームに腐食を発見した。	
10/10	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	JA737F	東京国際空港	鹿児島空港	運航整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
10/10	日本航空	ボーイング式767-300型	JA623J	東京国際空港	ソウル(金浦)	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
10/11	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8567	東京国際空港	高知空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
10/11	ジャルエクスプレス	ボーイング式737-800型	JA348J	広島空港	東京国際空港	降下中、誤って飛行中に操作することが許容される位置を超えて、スピードブレーキレバーを操作した。	
10/11	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA715A	東京国際空港	ロサンゼルス	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
10/11	ジャルエクスプレス	ボーイング式737-800型	JA329J	広島空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
10/12	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737H	神戸空港	那覇空港	巡航中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
10/13	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA208J	花巻空港	福岡空港	巡航中、機長側の飛行管理装置及び飛行コース等を表示させる装置が不動作となった。	
10/14	日本航空	ボーイング式737-800型	JA348J	中部国際空港	新千歳空港	進入中、被雷により胴体及び無線機のアンテナ等が損傷した。	
10/15	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA842A	大阪国際空港	福岡空港	進入中、鳥衝突により右側主翼前縁が損傷した。	
10/16	ANAウイングス	ボーイング式737-500型	JA354K	中部国際空港	旭川空港	離陸後、脚上げ操作を実施したが、脚操作レバーを動かすことができなかったため、引き返した。	レギュラ-運航
10/16	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA07KZ	成田国際空港	ロサンゼルス	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
10/16	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737X	東京国際空港	福岡空港	運航整備中、航空機用救命無線機にアンテナが付いていないことを発見した。(整備作業が不適切であったものと考えられる。)	
10/16	第一航空	プリテンノーマン式BN-2B-20型	JA5324	粟国空港	那覇空港	離陸時、鳥衝突により右主翼前縁を損傷した。	航空事故
10/17	エアージャパン	ボーイング式767-300型	JA8356	成田国際空港	那覇空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
10/17	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737U	那覇空港	福岡空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
10/17	ANAウイングス	ボーイング式737-500型	JA8195	石垣空港	那覇空港	水平飛行中、誤って高度を変更するスイッチに触れたため高度が低下し、対地接近警報装置が作動した。	
10/17	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA205J	熊本空港	大阪国際空港	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
10/18	日本航空	ボーイング式787-8型	JA822J	デリー(インド)	成田国際空港	上昇中、操縦室前方右側の窓に亀裂が発生したため、引き返した。	レギュラ-運航
10/20	全日本空輸	エアバス・インダストリー式A320-200型	JA8609	熊本空港	大阪国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
10/20	日本航空	ボーイング式767-300型	JA606J	成田国際空港	ホーチミン	巡航中、機内で急病人が発生したため目的地を変更し、最大着陸重量を超過した状態で着陸した。	
10/20	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737U	東京国際空港	神戸空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
10/20	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737K	那覇空港	関西国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
10/20	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737K	関西国際空港	新千歳空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
10/20	日本航空	ボーイング式737-800型	JA342J	東京国際空港	松山空港	上昇中、第1エンジンの排気ガス温度が上昇していることを示す計器表示があったため、当該エンジンを停止して引き返した。(エンジン内部に大規模な破損が生じた。)	重大インシデント
10/21	全日本空輸	エアバス・インダストリー式A320-200型	JA8386	八丈島空港	東京国際空港	離陸時、鳥衝突により第1エンジンのファンブレードを損傷した。	
10/22	ANAウイングス	ボーイング式737-500型	JA354K	仙台空港	大阪国際空港	巡航中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
10/22	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA01FJ	静岡空港	福岡空港	運航整備中、航空機用救命無線機のアンテナ折損を発見した。(機体への取付け作業が不適切であったものと考えられる。)	
10/22	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737R	福岡空港	東京国際空港	地上滑走中、機内放送装置が不動作となった。	
10/22	ANAウイングス	ボーイング式737-500型	JA354K	大阪国際空港	熊本空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
10/23	日本航空	ボーイング式767-300型	JA607J	中部国際空港	ホノルル	巡航中、機内で急病人が発生したため目的地を変更し、最大着陸重量を超過した状態で着陸した。	
10/23	日本航空	ボーイング式787-8型	JA825J	ボストン	成田国際空港	飛行中に乗客用座席からシートベルトが外れた。(機体製造時の取付け作業が不適切であったものと考えられる。)	
10/23	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	JA737G	東京国際空港	長崎空港	離陸時、不適切な操作により機体尾部を滑走路面に接触させた。	
10/24	全日本空輸	エアバス・インダストリー式A320-200型	JA8390	東京国際空港	石見空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
10/24	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA217J	大阪国際空港	仙台空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
10/24	日本トランスオシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8939	中部国際空港	那覇空港	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
10/24	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Q	東京国際空港	神戸空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
10/24	朝日航洋	ハル式430型	JA6900	名古屋飛行場	トヨタ元町場外離着陸場(愛知県)	離陸後、脚上げ操作を実施したが、脚が正常に格納されていないことを示すライトが点灯したままとなった。	
10/25	ピーチ・アビエーション	エアバス式A320-214型	JA804P	新千歳空港	関西国際空港	降下中、誤って高揚力装置を展開したため、高揚力装置展開時の運用限界速度を超過した。	
10/27	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8677	仙台空港	大阪国際空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
10/27	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737U	東京国際空港	新千歳空港	離陸前、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
10/27	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737U	新千歳空港	百里飛行場	離陸前、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
10/27	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737U	百里飛行場	新千歳空港	離陸前、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
10/27	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Z	関西国際空港	旭川空港	運航整備中、客室内の防水携帯灯の一部に不点灯を発見した。	
10/27	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA01RJ	福岡空港	大阪国際空港	着陸時、乗客用酸素マスク等を収納するサービスユニットが落下した。(整備作業が不適切であったものと考えられる。)	
10/29	日本航空	ボーイング式787-8型	JA827J	デリー(インド)	成田国際空港	巡航中、左側の飛行管理装置が不動作となった。	
10/29	ジャルエクスプレス	ボーイング式737-800型	JA326J	東京国際空港	松山空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
10/30	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA03FJ			書類確認の結果、航法システムに誤った部品が取り付けられていることが判明した。	
10/30	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NA	新千歳空港	東京国際空港	離陸前、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
10/30	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA06MC	東京国際空港	北九州空港	巡航中、対地接近警報装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
10/31	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA04RJ	小松飛行場	成田国際空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
10/31	日本エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA849C	鹿児島空港	屋久島空港	着陸後、滑走路末端において転回した後駐機場場に向って地上走行していたところ、同機が滑走路を離脱する前に、滑走路に入って待機していた個人機(回転翼航空機)が離陸した。	重大インシデント
11/1	全日本空輸	エアバス・インダストリー式A320-200型	JA8382	関西国際空港	ソウル(仁川)	離陸後、脚が正常に格納されていないこと及び脚格納扉が閉じていないことを示す計器表示があったため、再度、脚上げ操作を実施したところ正常となった。	
11/1	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737K			書類確認の結果、油圧リザーバーを加圧する装置のエアフィルターに誤った部品が使用されていることが判明した。	
11/1	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737L			書類確認の結果、油圧リザーバーを加圧する装置のエアフィルターに誤った部品が使用されていることが判明した。	
11/1	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737M			書類確認の結果、油圧リザーバーを加圧する装置のエアフィルターに誤った部品が使用されていることが判明した。	
11/1	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737N			書類確認の結果、油圧リザーバーを加圧する装置のエアフィルターに誤った部品が使用されていることが判明した。	
11/1	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737P			書類確認の結果、油圧リザーバーを加圧する装置のエアフィルターに誤った部品が使用されていることが判明した。	
11/1	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Q			書類確認の結果、油圧リザーバーを加圧する装置のエアフィルターに誤った部品が使用されていることが判明した。	
11/1	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737T			書類確認の結果、油圧リザーバーを加圧する装置のエアフィルターに誤った部品が使用されていることが判明した。	
11/1	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737U			書類確認の結果、油圧リザーバーを加圧する装置のエアフィルターに誤った部品が使用されていることが判明した。	
11/1	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737X			書類確認の結果、油圧リザーバーを加圧する装置のエアフィルターに誤った部品が使用されていることが判明した。	
11/1	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Y			書類確認の結果、油圧リザーバーを加圧する装置のエアフィルターに誤った部品が使用されていることが判明した。	
11/1	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Z			書類確認の結果、油圧リザーバーを加圧する装置のエアフィルターに誤った部品が使用されていることが判明した。	
11/1	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NA			書類確認の結果、油圧リザーバーを加圧する装置のエアフィルターに誤った部品が使用されていることが判明した。	
11/1	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NB			書類確認の結果、油圧リザーバーを加圧する装置のエアフィルターに誤った部品が使用されていることが判明した。	
11/1	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NC			書類確認の結果、油圧リザーバーを加圧する装置のエアフィルターに誤った部品が使用されていることが判明した。	
11/1	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73ND			書類確認の結果、油圧リザーバーを加圧する装置のエアフィルターに誤った部品が使用されていることが判明した。	
11/1	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NE			書類確認の結果、油圧リザーバーを加圧する装置のエアフィルターに誤った部品が使用されていることが判明した。	
11/1	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NF			書類確認の結果、油圧リザーバーを加圧する装置のエアフィルターに誤った部品が使用されていることが判明した。	
11/2	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA02KZ	アンカレッジ	シカゴ	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
11/3	エアアジア・ジャパン	エアバス式A320-214型	JA03AJ	成田国際空港	福岡空港	巡航中、前方の貨物室扉が確実に閉じられていないことを示す計器表示が一時的に生じた。	
11/3	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA03FJ	名古屋飛行場	花巻空港	運航整備中、左主翼付根部のフェアリングに損傷を発見した。	
11/3	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA01FJ	福岡空港	静岡空港	運航整備中、左主翼付根部のフェアリングに損傷を発見した。	
11/3	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA05FJ	熊本空港	名古屋飛行場	運航整備中、左主翼付根部のフェアリングに損傷を発見した。	
11/4	全日本空輸	エアバス・インダストリー式A320-200型	JA8392	神戸空港	那覇空港	巡航中、後方の貨物室扉が確実に閉じられていないことを示す計器表示があった。	
11/4	エアアジア・ジャパン	エアバス式A320-214型	JA03AJ	成田国際空港	福岡空港	巡航中、前方の貨物室扉が確実に閉じられていないことを示す計器表示が一時的に生じた。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
11/4	エアアジア・ジャパン	エアバス式A320-214型	JA03AJ	福岡空港	成田国際空港	巡航中、前方の貨物室扉が確実に閉じられていないことを示す計器表示があった。	
11/4	全日本空輸	ボーイング式737-700型	JA05AN			定時整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
11/5	日本航空	ボーイング式737-800型	JA342J	関西国際空港	ソウル(金浦)	進入中、被雷により胴体前部及び水平尾翼が損傷した。	
11/6	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8286	青島(中国)	成田国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
11/6	エアアジア・ジャパン	エアバス式A320-214型	JA03AJ	成田国際空港	福岡空港	巡航中、前方の貨物室扉が確実に閉じられていないことを示す計器表示が一時的に生じた。	
11/6	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737X	神戸空港	新千歳空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
11/6	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NJ	東京国際空港	福岡空港	巡航中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
11/6	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8670	鳥取空港	東京国際空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
11/6	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA609A	上海(浦東)	関西国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
11/6	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA740J	シカゴ	成田国際空港	降下中、被雷により胴体前部及び右舷灯のカバーが損傷した。	
11/6	ジャルエクスプレス	ボーイング式737-800型	JA323J	東京国際空港	北九州空港	上昇中、被雷により両方のウィングレットが損傷した。	
11/7	エアアジア・ジャパン	エアバス式A320-214型	JA03AJ	成田国際空港	那覇空港	巡航中、前方の貨物室扉が確実に閉じられていないことを示す計器表示が一時的に生じた。	
11/7	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8322	東京国際空港	富山空港	進入中、被雷によりレドーム及び水平尾翼が損傷した。	
11/7	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NK	東京国際空港	福岡空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
11/7	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8677	富山空港	東京国際空港	上昇中、被雷により胴体前部及び補助動力装置の排気ダクト等が損傷した。	
11/7	日本航空	ボーイング式777-200型	JA701J	東京国際空港	ホノルル	巡航中、気流の変化により最大運用限界速度を一時的に逸脱した。	
11/8	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NN	東京国際空港	神戸空港	着陸時、鳥衝突により左側高揚力装置が損傷した。	
11/8	日本航空	ボーイング式767-300型	JA613J	成田国際空港	ハノイ	離陸直後に副操縦士側の高度計に不具合が発生したため、目的地を変更し、最大着陸重量を超過した状態で着陸した。	レギュラ-運航
11/8	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA204J	大阪国際空港	山形空港	降下中、被雷により胴体下部及び水平尾翼が損傷した。	
11/9	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737N	新千歳空港	東京国際空港	離陸前、ウィンドシアー警報及び気象レーダーが不動作であることを示す計器表示があった。	
11/9	日本エアコミューター	サブ式SAAB340B型	JA8888	沖永良部空港	鹿児島空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
11/9	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA8199	東京国際空港	松山空港	巡航中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
11/9	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-800型	JA801X	宮崎空港	東京国際空港	着陸時、不適切な操作により機体尾部を滑走路面に接触させた。	
11/10	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8938	中部国際空港	那覇空港	巡航中、左側抽気系統のダクト周辺が過熱していることを示すライトが点灯したため、引き返した。	レギュラ-運航
11/11	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8938	中部国際空港	那覇空港	離陸滑走中、左側抽気系統のダクト周辺が過熱していることを示すライトが点灯したため、スポットに引き返した。	
11/11	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA02MC	北九州空港	東京国際空港	上昇中、操縦室右側の窓に亀裂が発生したため、航空交通管制上の優先権を要請の上、目的地に着陸した。	レギュラ-運航
11/11	エア・ドゥ	ボーイング式737-500型	JA305K	女満別空港	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
11/11	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA859A	大阪国際空港	高知空港	進入中、対地接近警報装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
11/11	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA847A	熊本空港	大阪国際空港	降下中、被雷によりレドーム及び胴体等が損傷した。	
11/11	全日本空輸	ボーイング式747-400D型	JA8960			定時整備中、胴体下部のフレームに腐食を発見した。	
11/11	全日本空輸	ボーイング式747-400D型	JA8960			定時整備中、胴体後部の垂直尾翼取付部の外板に摩耗による損傷を発見した。	
11/11	朝日航洋	セスナ式560型	JA02AA	成田国際空港	名古屋飛行場	上昇中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
11/12	ジャルエクスプレス	ボーイング式737-800型	JA319J	新千歳空港	中部国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
11/12	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA02KZ	成田国際空港	香港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
11/12	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA206J	青森空港	新千歳空港	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
11/13	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA58AN	秋田空港	東京国際空港	上昇中、被雷により胴体前部及び無線機のアンテナが損傷した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
11/13	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NE	那覇空港	福岡空港	降下中、被雷により胴体及び水平尾翼が損傷した。	
11/13	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NJ	長崎空港	神戸空港	上昇中、被雷により左側の逆推力装置及び右側のウイングレットが損傷した。	
11/13	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NP	福岡空港	那覇空港	上昇中、被雷により胴体及び機体の迎え角を検知する左側のセンサー等が損傷した。	
11/13	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA02MC	北九州空港	釜山	上昇中、被雷により胴体前部が損傷した。	
11/13	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA852A	福島空港	大阪国際空港	降下中、被雷によりレドームが損傷した。	
11/13	日本航空	ボーイング式777-200型	JA8982	大阪国際空港	東京国際空港	上昇中、被雷により胴体前部が損傷した。	
11/13	北海道エアシステム	サーブ式SAAB340B型	JA01HC	札幌飛行場	利尻空港	離陸前、対地接近警報装置が不作動であることを示すライトが点灯したため、スポットに引き返した。	
11/13	オリエンタルエアブリッジ	ボンバルディア式DHC-8-201型	JA802B	長崎空港	彦岐空港	降下中、被雷により胴体及び右側の昇降舵が損傷した。	
11/13	日本エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA843C	福岡空港	宮崎空港	上昇中、被雷によりレドーム、胴体前部及び迎え角を検知するセンサー等が損傷した。	
11/14	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8568	美保飛行場	東京国際空港	離陸滑走中、滑走路を小動物が横切ったため、離陸を中止した。	
11/14	エアージャパン	ボーイング式767-300型	JA625A	大連	成田国際空港	降下中、被雷により胴体前部及び方向舵が損傷した。	
11/14	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA03MC	福岡空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不作動であることを示す計器表示があった。	
11/14	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA03MC	東京国際空港	北九州空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不作動であることを示す計器表示があった。	
11/14	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA62AN	鳥取空港	東京国際空港	上昇中、被雷により胴体前部が損傷した。	
11/14	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA857A	大阪国際空港	大分空港	降下中、被雷によりレドーム及び左側のエルロンが損傷した。	
11/14	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8288	富山空港	東京国際空港	上昇中、被雷によりレドーム、胴体前部及び右側の高揚力装置等が損傷した。	
11/15	ANAウイングス	ボーイング式737-500型	JA303K	函館空港	中部国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
11/15	全日本空輸	ボーイング式777-300型	JA751A	大阪国際空港	東京国際空港	運航整備中、右側の高揚力装置に鳥衝突による損傷を発見した。	
11/15	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA04FJ			定時整備中、客室前方の化粧室の消火ボットの圧力が0となっていることを発見した。	
11/15	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA07RJ	福岡空港	仙台空港	進入中、対地接近警報装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
11/15	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA01RJ	小松飛行場	成田国際空港	上昇中、被雷により胴体前部及び右側の水平尾翼端部が損傷した。	
11/16	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737K	鹿児島空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不作動であることを示す計器表示があった。	
11/16	日本航空	ボーイング式777-300型	JA8941	那覇空港	大阪国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
11/18	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8289	富山空港	東京国際空港	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
11/18	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA213J	秋田空港	大阪国際空港	上昇中、被雷により左側の昇降舵が損傷するとともに、飛行記録装置等が不作動であることを示す計器表示があった。	
11/19	エア・ドゥ	ボーイング式767-300型	JA8359	東京国際空港	新千歳空港	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
11/19	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA217J	大阪国際空港	秋田空港	降下中、誤って管制指示高度を逸脱した。	
11/19	ジャルエクスプレス	ボーイング式737-800型	JA322J	高知空港	東京国際空港	運航整備中、空調装置に誤った部品が取り付けられていることを発見した。(機体製造時に誤ったものと考えられる。)	
11/19	中日本航空	エアバスA330-300型	JA9965	比良場外離着陸場(滋賀県)	比良場外離着陸場(滋賀県)	物資の吊り上げ作業中、地上作業員が吊り上げ物資に接触したため転倒し、負傷(右手首骨折等)した。	航空事故
11/20	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA66AN	能登空港	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
11/20	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA06MC	福岡空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不作動であることを示す計器表示があった。	
11/20	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA06MC	東京国際空港	北九州空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不作動であることを示す計器表示があった。	
11/20	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737H	東京国際空港	福岡空港	上昇中、ウィンドシアー警報及び気象レーダーが不作動であることを示す計器表示があった。	
11/20	エアアジア・ジャパン	エアバス式A320-214型	JA02AJ	成田国際空港	新千歳空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
11/23	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA03JJ	成田国際空港	那覇空港	降下中、化粧室の煙検知器が作動したため、点検したところ、ごみ箱に原因と思われるたばこの吸殻を発見した。	
11/23	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	JA737B	東京国際空港	鹿児島空港	運航整備中、左主翼後縁部の下面に損傷を発見した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
11/23	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA04MC			定時整備中、非常用発電機の作動試験を実施したが、発電機出力が機体側に供給出来ない不具合が発生した。	
11/23	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA05MC	東京国際空港	福岡空港	巡航中、慣性航法装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
11/23	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NF	福岡空港	東京国際空港	進入中、誤って運用限界速度を超える速度で高揚力装置を展開した。	
11/25	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA743J	ロサンゼルス	成田国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
11/25	全日本空輸	ボーイング式747-400D型	JA8966	那覇空港	東京国際空港	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
11/25	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73ND	東京国際空港	福岡空港	巡航中、航空機衝突防止装置が不作動であることを示す計器表示があった。	
11/25	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73ND	福岡空港	東京国際空港	巡航中、航空機衝突防止装置が不作動であることを示す計器表示があった。	
11/25	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73ND	熊本空港	東京国際空港	巡航中、航空機衝突防止装置が不作動であることを示す計器表示があった。	
11/25	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Q	那覇空港	成田国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
11/26	日本航空	ボーイング式767-300型	JA610J	成田国際空港	上海(浦東)	巡航中、シートベルトサインがオフの状態において機体が動揺し、乗客1名が負傷(右足首骨折)した。	航空事故
11/26	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NG	東京国際空港	新千歳空港	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
11/26	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA203J	新千歳空港	仙台空港	進入中、脚下げ操作を実施したが、操作レバーの位置と脚の位置が不一致であることを示す計器表示があったため、再度、脚下げ操作を実施したところ正常となった。	
11/26	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA203J	大阪国際空港	福岡空港	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
11/27	エア・ドゥ	ボーイング式767-300型	JA601A	東京国際空港	新千歳空港	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
11/27	エア・ドゥ	ボーイング式767-300型	JA601A	東京国際空港	新千歳空港	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
11/27	日本航空	ボーイング式767-300型	JA603J	成田国際空港	ホノルル	上昇中、機内で急病人が発生したため目的地を変更し、最大着陸重量を超過した状態で着陸した。	
11/27	ジャルエクスプレス	ボーイング式737-800型	JA338J	東京国際空港	新千歳空港	巡航中、外気温度計が不作動となり、自動操縦装置の機能の一部が使用できなくなった。	
11/28	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8368	大阪国際空港	鹿児島空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
11/28	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8275	那覇空港	神戸空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
11/28	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737N	長崎空港	神戸空港	地上滑走中、ウィンドシアア警報及び気象レーダーが不作動であることを示す計器表示があった。	
11/28	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737X	那覇空港	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置が不作動であることを示す計器表示があった。	
11/28	ANAウイングス	ボーイング式737-500型	JA357K	函館空港	中部国際空港	離陸滑走中、鳥衝突を避けるため離陸を中止した。	
11/29	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-800型	JA804X	宮崎空港	東京国際空港	降下中、対地接近警報装置が不作動であることを示す計器表示があった。	
11/29	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NE	東京国際空港	東京国際空港	運航整備中、右側のスポイラーの上面に損傷を発見した。	
11/29	エア・ドゥ	ボーイング式737-500型	JA300K	東京国際空港	新千歳空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
11/29	琉球エア・コンピューター	デ・ハビランド式DHC-8-103型	JA8973			書類確認の結果、携帯用消火器について整備計画を誤り、搭載可能時期を超えて航空機に搭載していたことが判明した。	
11/29	琉球エア・コンピューター	デ・ハビランド式DHC-8-103型	JA8974			書類確認の結果、携帯用消火器について整備計画を誤り、搭載可能時期を超えて航空機に搭載していたことが判明した。	
11/30	エアー・ジャパン	ボーイング式767-300型	JA8362	関西国際空港	那覇空港	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
11/30	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA02KZ	成田国際空港	上海(浦東)	離陸後、脚上げ操作を実施したが、右翼主脚が正常に格納されていないことを示す計器表示があったため、引き返した。	イレギュラー運航
11/30	全日本空輸	エアバス・インダストリー式A320-200型	JA8654	福岡空港	小松飛行場	巡航中、客室高度が上昇していることを示す計器表示があったため、航空交通管制上の優先権を要請の上、降下した。	イレギュラー運航
11/30	全日本空輸	ボーイング式737-700型	JA11AN			定時整備中、航空機用救命無線機の不具合を発見した。	
12/1	ANAウイングス	ボーイング式737-500型	JA358K	新潟空港	那覇空港	上昇中、被雷により左翼付根にあるダクトの空気漏れを検知するセンサー及び胴体前部等が損傷した。	
12/1	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA02KZ	アムステルダム	ミラノ	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
12/2	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA216J	花巻空港	大阪国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
12/2	エア・ドゥ	ボーイング式737-700型	JA01AN	東京国際空港	帯広空港	第1エンジンの発電機の故障により補助動力装置を離陸前から作動させていたが、巡航中に補助動力装置が停止したため、航空交通管制上の優先権を要請の上、引き返した。	イレギュラー運航
12/2	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA01MC	東京国際空港	北九州空港	ブッシュバック後、化粧室の煙探知器に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
12/2	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NG	成田国際空港	那覇空港	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
12/2	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA206J	福岡空港	花巻空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
12/2	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NA	福岡空港	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置が不作為であることを示す計器表示があった。	
12/2	日本航空	ボーイング式767-300型	JA617J	上海(浦東)	成田国際空港	運航整備中、右翼上後方の非常脱出口下側にあるステップがなくなっていることを発見した。	
12/3	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA713A	東京国際空港	小松飛行場	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
12/4	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA846A	成田国際空港	新潟空港	進入中、被雷によりレドーム及び左側の着氷を検知する装置が損傷した。	
12/4	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NJ	百里飛行場	新千歳空港	着陸復行中、悪天候の影響に伴う風の急変により、高揚力装置展開時の運用限界速度を一時的に超過した。	
12/5	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA741J	ロサンゼルス	成田国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
12/5	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA206J	新潟空港	大阪国際空港	巡航高度に到達する直前、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
12/5	日本航空	ボーイング式767-300型	JA620J	東京国際空港	台北	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
12/5	オリエンタルエアブリッジ	ボンバルディア式DHC-8-201型	JA801B	対馬空港	長崎空港	上昇中、被雷により胴体下面と第2エンジンのプロペラが損傷した。	
12/5	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA212J	大阪国際空港	長崎空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
12/5	日本航空	ボーイング式767-300型	JA606J	成田国際空港	ホノルル	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
12/5	エアージャパン	ボーイング式767-300型	JA8356	青島(中国)	成田国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
12/6	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA858A	秋田空港	大阪国際空港	上昇中、被雷により左右の主翼端部及びエルロン等が損傷した。	
12/6	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NA	神戸空港	那覇空港	降下中、航空機衝突防止装置が不作為であることを示す計器表示があった。	
12/6	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA04FJ	名古屋飛行場	青森空港	進入中、被雷により胴体及び左側のエレベーター端部が損傷した。	
12/7	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NA	成田国際空港	旭川空港	降下中、航空機衝突防止装置が不作為であることを示す計器表示があった。	
12/7	日本エアコミューター	サーブ式SAAB340B型	JA8642	松山空港	福岡空港	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
12/7	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737X	那覇空港	福岡空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不作為であることを示す計器表示があった。	
12/7	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA01FJ	名古屋飛行場	福岡空港	進入中、誤って管制指示経路から逸脱した。	
12/8	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA57AN	東京国際空港	庄内空港	着陸後、滑走路の過走帯を超えて停止した。	重大インシデント
12/8	日本航空	ボーイング式777-200型	JA8978	大阪国際空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
12/8	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA07MC	東京国際空港	北九州空港	降下中、航空機衝突防止装置が不作為であることを示す計器表示があった。	
12/8	エアアジア・ジャパン	エアバス式A320-214型	JA02AJ	釜山	成田国際空港	着陸復行中、不適切な操作により機速が維持できず、高揚力装置展開時の運用限界速度を超過した。	
12/9	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NB	福岡空港	東京国際空港	巡航中、航空機衝突防止装置が不作為であることを示す計器表示があった。	
12/10	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA01MC	東京国際空港	北九州空港	進入中、ウィンドシアー警報が不作為であることを示す計器表示があった。	
12/10	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA622A	成田国際空港	デリー(インド)	巡航中、対地接近警報装置が不作為であることを示す計器表示があった。	
12/10	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NM			定時整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
12/11	日本航空	ボーイング式777-200型	JA702J	成田国際空港	ホノルル	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
12/11	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA01MC	東京国際空港	福岡空港	進入中、ウィンドシアー警報が不作為であることを示す計器表示があった。	
12/11	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NA	東京国際空港	新千歳空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
12/12	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA02KZ	成田国際空港	関西国際空港	離陸後、脚上げ操作を実施したが、右翼主脚が正常に格納されていないことを示す計器表示があったため、引き返した。	イレギュラー運航
12/12	全日本空輸	ボーイング式747-400D型	JA8961			定時整備中、左主翼の高揚力装置に腐食を発見した。	
12/13	エアージャパン	ボーイング式767-300型	JA606A	ホノルル	東京国際空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
12/13	全日本空輸	ボーイング式737-500型	JA302K			定時整備中、中央翼下面の外板に腐食を発見した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
12/14	エア・ドゥ	ボーイング式737-500型	JA305K	女満別空港	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
12/14	全日本空輸	ボーイング式747-400D型	JA8965	福岡空港	東京国際空港	離陸後、脚上げ操作を実施したが、左側胴体の主脚が格納されていないことを示す計器表示があったため、引き返した。	レギュラー運航
12/14	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA05JJ	成田国際空港	那覇空港	着陸後、電波高度計が不動作であることを示す計器表示があった。	
12/14	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8264	東京国際空港	ソウル(金浦)	着陸復行中、不適切な操作により機速が維持できず、高揚力装置展開時の運用限界速度を超過した。	
12/14	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA202J	新潟空港	新千歳空港	離陸滑走中、鳥衝突の可能性があったため、離陸を中止した。	
12/15	エアアジア・ジャパン	エアバス式A320-214型	JA03AJ	成田国際空港	釜山	巡航中、エアデータコンピューターに不具合が発生したことを示す計器表示があったため、引き返した。	レギュラー運航
12/15	全日本空輸	ボーイング式747-400D型	JA8961			定時整備中、荷物室扉のフレームに損傷を発見した。	
12/15	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA08RJ	大阪国際空港	仙台空港	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
12/16	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737X			定時整備中、一部の非常用照明灯が正常に点灯しないことを発見した。	
12/16	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA809A	東京国際空港	熊本空港	運航整備中、機内の防水携帯灯の一部に不点灯を発見した。	
12/16	全日本空輸	エアバス・インダストリー式A320-200型	JA8395	大阪国際空港	鹿児島空港	巡航中、航空機衝突防止装置及び脚制御システムの不具合を示す計器表示があった。	
12/16	日本エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA850C	奄美空港	鹿児島空港	巡航中、第1エンジンの滑油温度が高いことを示す計器表示があった。	
12/18	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA202J	新千歳空港	大阪国際空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
12/18	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8268	東京国際空港	大阪国際空港	離陸滑走中、左側の配電系統が不動作であることを示す計器表示があったため、離陸を中止した。	
12/19	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA859A	大阪国際空港	松山空港	進入中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
12/19	オリエンタルエアブリッジ	ボンバルディア式DHC-8-201型	JA801B	長崎空港	長崎空港	着陸復行中、高揚力装置を収納する時機が遅すぎたため、高揚力装置展開時の運用限界速度を超過した。	
12/20	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NB	神戸空港	東京国際空港	地上滑走中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があったため、スポットに引き返した。	
12/20	日本航空	ダグラス式MD-90-30型	JA8070	東京国際空港	宮崎空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
12/21	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NA	那覇空港	中部国際空港	巡航中、対地接近警報装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
12/21	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA04KZ			書類確認の結果、左主翼の防水装置に誤った部品が取り付けられていることが判明した。	
12/22	エアアジア・ジャパン	エアバス式A320-214型	JA01AJ	釜山	成田国際空港	上昇中、悪天候の影響に伴う風の急変により、高揚力装置展開時の運用限界速度を一時的に超過した。	
12/23	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA64AN	大分空港	東京国際空港	離陸滑走中、エンジンの滑油圧等が運用限界を超過した場合に関連する計器を自動的に表示させる画面が作動したため、離陸を中止した。	
12/24	エア・ドゥ	ボーイング式767-300型	JA98AD	函館空港	東京国際空港	巡航中、ウィンドシアー警報及び対地接近警報装置等が不動作であることを示す計器表示があった。	
12/24	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NP	新千歳空港	東京国際空港	上昇中、左右燃料タンクの燃料量に運用限界を超過する差異が一時的に生じた。	
12/24	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA845A	松山空港	大阪国際空港	離陸後、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
12/24	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA217J	大阪国際空港	那覇空港	巡航中、左右燃料タンクの燃料量の差異の修正操作を誤ったため、運用限界を超過した。	
12/24	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA04MC	北九州空港	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
12/24	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA04MC	東京国際空港	北九州空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
12/24	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA55AN	能登空港	東京国際空港	運航整備中、乗客用座席に誤った部品番号のベルトが取り付けられていることを発見した。	
12/25	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA59AN	能登空港	東京国際空港	上昇中、被雷により胴体前部が損傷した。	
12/25	日本航空	ボーイング式767-300型	JA617J	関西国際空港	バンコク	上昇中、自動操縦から手動操縦に切り換わるとともに、第1エンジンの発電機に不具合が発生したことを示す計器表示があったため目的地を変更し、最大着陸重量を超過した状態で着陸した。	レギュラー運航
12/25	全日本空輸	エアバス式A320-214型	JA208A	東京国際空港	東京国際空港	試験飛行中、乗客用の一部の酸素マスクが正常に落下しない状態であることを発見した。	
12/25	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA202J	新千歳空港	花巻空港	着陸後、滑走路を逸脱し、前輪が草地にはみ出した状態で停止した。	重大インシデント
12/25	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA07MC	東京国際空港	北九州空港	巡航中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
12/26	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8578	高松空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
12/26	エアー・ジャパン	ボーイング式767-300型	JA620A	成田国際空港	香港	運航整備中、第1エンジンのファンブレードに損傷を発見した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
12/26	エアアジア・ジャパン	エアバス式A320-214型	JA01AJ	成田国際空港	新千歳空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
12/26	日本エアコミューター	サブ式SAAB340B型	JA001C	済南	鹿児島空港	離陸後、脚上げ操作を実施したが、脚が正常に格納されていないことを示すライトが点灯したままとなったため、引き返した。	レギュラー運航
12/27	ジャルエクスプレス	ボーイング式737-800型	JA307J	東京国際空港	秋田空港	前便で被雷したため、運航整備中に航空機用救命無線機の作動点検を実施したが、スイッチをOFFにしても作動したままとなった。	
12/27	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8670	岡山空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
12/28	日本航空	ダグラス式MD-90-30型	JA8070	高知空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
12/28	エア・ドゥ	ボーイング式737-500型	JA8404	旭川空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
12/28	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA214J	宮崎空港	大阪国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
12/30	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737X	神戸空港	百里飛行場	上昇中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
12/30	エアアジア・ジャパン	エアバス式A320-214型	JA02AJ	福岡空港	成田国際空港	着陸復行中、高揚力装置を収納する時機が遅すぎたため、高揚力装置展開時の運用限界速度を超過した。	
1/1	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	JA737F	宮崎空港	那覇空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
1/1	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA05FJ	静岡空港	福岡空港	降下中、被雷により胴体前部及び垂直尾翼が損傷した。	
1/1	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA08MC	北九州空港	東京国際空港	進入中、飛行管理装置が指示した経路に自動操縦装置が追従しなかったため、管制指示経路から逸脱した。	
1/1	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA05RJ	仙台空港	大阪国際空港	巡航中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
1/2	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737X	神戸空港	那覇空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
1/3	日本エアコミューター	サブ式SAAB340B型	JA8649	松山空港	福岡空港	進入中、対地接近警報装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
1/3	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NA	成田国際空港	旭川空港	着陸復行中、不適切な操作により機速が維持できず、高揚力装置展開時の運用限界速度を超過した。	
1/3	全日本空輸	ボーイング式737-700型	JA11AN			定時整備中、副操縦士側の酸素マスクから酸素が供給されない不具合を発見した。	
1/4	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA04MC	北九州空港	東京国際空港	進入中、飛行管理装置が指示した経路に自動操縦装置が追従しなかったため、管制指示経路から逸脱した。	
1/6	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NM	東京国際空港	新千歳空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
1/6	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NM	新千歳空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
1/6	全日本空輸	エアバス・インダストリー式A320-200型	JA8394	八丈島空港	東京国際空港	進入中、鳥衝突により第1エンジンのファンブレードを損傷した。	
1/6	ジャルエクスプレス	ボーイング式737-800型	JA326J	函館空港	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
1/7	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA859A	高知空港	大阪国際空港	進入中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
1/7	日本航空	ボーイング式787-8型	JA827J	サンディエゴ	成田国際空港	巡航中、右側及び中央の飛行管理装置が不動作となった。	
1/9	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA01FJ	静岡空港	鹿児島空港	上昇中、乗降用扉が確実に閉じられていないことを示す計器表示があったため、目的地を変更した。	レギュラー運航
1/9	エア・ドゥ	ボーイング式737-700型	JA01AN	東京国際空港	帯広空港	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
1/9	日本航空	ボーイング式787-8型	JA824J	ボストン	成田国際空港	地上走行中、左右燃料タンクの燃料量の差異が運用限界を超過したことを示す計器表示があり、さらに、左主翼から燃料が漏れているとの連絡を管制官から受けたため、スポットに引き返した。	
1/9	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA738J	成田国際空港	ロサンゼルス	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
1/10	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8266	高雄	成田国際空港	運航整備中、操縦室内の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
1/10	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA217J	宮崎空港	大阪国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
1/11	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA816A	東京国際空港	松山空港	巡航中、操縦室左側の窓に亀裂が発生した。	
1/11	日本航空	ボーイング式767-300型	JA618J	バンコク	関西国際空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
1/11	日本航空	ボーイング式767-300型	JA618J	関西国際空港	台北	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
1/12	全日本空輸	ボーイング式737-700型	JA08AN	中部国際空港	成田国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
1/12	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8274	熊本空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
1/12	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA64AN	庄内空港	東京国際空港	上昇中、被雷により両ウイングレットが損傷した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
1/12	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NJ	東京国際空港	福岡空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不作為であることを示す計器表示があった。	
1/12	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Z	神戸空港	東京国際空港	離陸滑走中、航空機衝突防止装置が不作為であることを示す計器表示があった。	
1/14	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA815A	東京国際空港	北京	離陸滑走中、鳥に衝突したため、離陸を中止した。	
1/14	日本航空	ボーイング式777-200型	JA706J	北京	東京国際空港	巡航中、風の急変により最大運用限界速度を一時的に超過した。	
1/14	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NE	新千歳空港	神戸空港	上昇中、誤って管制指示高度を逸脱した。	
1/14	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA04MC	東京国際空港	関西国際空港	地上走行中、後方貨物室の煙探知器が作動した。	
1/14	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA807A	高松空港	東京国際空港	運航整備中、機内の防水携帯灯の一部の不点灯を発見した。	
1/15	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA802A	東京国際空港	高松空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
1/15	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NH	東京国際空港	熊本空港	巡航中、化粧室の煙探知器に不具合が発生したことを示すライトが点灯した。	
1/15	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NH	東京国際空港	福岡空港	巡航中、化粧室の煙探知器に不具合が発生したことを示すライトが点灯した。	
1/15	全日本空輸	ボーイング式747-400D型	JA8961	東京国際空港	新千歳空港	運航整備中、客室内の非常脱出口を示す標識に誤った部品が取り付けられていることを発見した。	
1/16	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8987	東京国際空港	熊本空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
1/16	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA64AN	佐賀空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
1/16	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA804A	山口宇部空港	東京国際空港	巡航中、バッテリーに不具合が発生し、操縦室内で異臭がしたため、航空交通管制上の優先権を要請の上目的地を変更した。着陸後、誘導路上で搭乗者を脱出用スライドを使用して降機させ	重大インシデント
1/16	中日本航空	エアロバス式AS350B1型	JA9743	石垣場外離着陸場	石垣場外離着陸場	飛行中、航空機用救命無線機が作動したままととなった。	
1/16	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA810A	岡山空港	東京国際空港	運航整備中、機内の防水携帯灯の一部の不点灯を発見した。	
1/16	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA816A	岡山空港	東京国際空港	運航整備中、機内の防水携帯灯の一部の不点灯を発見した。	
1/17	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA01RJ	小松飛行場	成田国際空港	離陸滑走中、失速警報装置が不作為であることを示す計器表示があったため、離陸を中止した。	
1/18	ジャルエクスペレス	ボーイング式737-800型	JA341J	東京国際空港	三沢飛行場	着陸直前に、滑走路の雪氷状態が着陸を制限される状態に悪化していることが伝えられたが、誤ってそのまま着陸した。	
1/18	日本航空	ボーイング式737-800型	JA306J	東京国際空港	高知空港	運航整備中、第1エンジンのファンブレードに損傷を発見した。	
1/18	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA211J	大阪国際空港	新潟空港	進入中、被雷により胴体前部及び方向舵が損傷した。	
1/19	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73ND	新千歳空港	成田国際空港	運航整備中、航空機用救命無線機が作動したままととなった。	
1/19	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA01MC	東京国際空港	関西国際空港	上昇中、慣性航法装置と飛行管理装置が算出する位置情報に差異があることを示す計器表示があった。	
1/21	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8290	大阪国際空港	東京国際空港	進入中、脚下げ操作を実施したが、前脚が下がらなかったため、復行によりエンジンの出力を上げたところ正常となった。	
1/22	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA01FJ	福岡空港	静岡空港	運航整備中、左側のウィングレットに被雷による損傷を発見した。	
1/22	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA01FJ	新千歳空港	松本空港	着陸後、機内と機外の最大差圧が運用限界を超過していた。	
1/23	ANAウイングス	ボーイング式737-500型	JA8500	大阪国際空港	福岡空港	離陸滑走中、乗降用扉が確実に閉じられていないことを示す計器表示があったため、離陸を中止した。	
1/23	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	JA737F	長崎空港	東京国際空港	運航整備中、一部の非常用照明灯が正常に点灯しないことを発見した。	
1/23	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA05KZ	関西国際空港	シンガポール	着陸後、第4エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
1/23	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA05KZ	シンガポール	バンコク	着陸後、第4エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
1/24	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8268	東京国際空港	徳島飛行場	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
1/25	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8939	宮古空港	那覇空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
1/27	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8578	新千歳空港	神戸空港	降下中、被雷により胴体前部が損傷した。	
1/27	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA05MC	東京国際空港	北九州空港	運航整備中、右側の高揚力装置に鳥衝突による損傷を発見した。	
1/27	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA04FJ			定時整備中、乗客用の一部の酸素マスクが正常に落下しない状態であることを発見した。	
1/28	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8980	東京国際空港	熊本空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
1/28	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA203J	新千歳空港	大阪国際空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
1/29	ANAウイングス	ボーイング式737-500型	JA359K	福岡空港	対馬空港	離陸滑走中、機内に供給する空気の温度が高くなっていることを示すライトが点灯したため、離陸を中止した。	
1/29	北海道エアシステム	サブ式SAAB340B型	JA01HC	札幌飛行場	函館空港	離陸後、脚上げ操作を実施したが、前脚が正常に格納されていないことを示すライトが点灯したままとなったため、引き返した。	レギュラー運航
1/30	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8264			定時整備中、後方乗降用扉のフレームに腐食を発見した。	
1/31	ジャルエクスプレス	ボーイング式737-800型	JA319J	関西国際空港	新千歳空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
1/31	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8264			定時整備中、左主翼の前桁に腐食を発見した。	
2/1	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Z	福岡空港	成田国際空港	運航整備中、胴体下面に鳥衝突による損傷を発見した。	
2/1	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA735J	フランクフルト	成田国際空港	巡航中、運航乗務員用の酸素の圧力が低下していることを示す計器表示があったため、目的地を変更した。	レギュラー運航
2/2	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	JA737B	宮崎空港	東京国際空港	進入中、鳥衝突により第2エンジンのファンブレードを損傷した。	
2/2	日本エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA844C			書類確認の結果、エンジンのパワーレバーの操作機構に誤った部品が取り付けられていることが判明した。	
2/3	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA610A	上海(浦東)	成田国際空港	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2/3	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NP	神戸空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2/3	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8939	福岡空港	那覇空港	巡航中、第1エンジンの発電機に不具合が発生し、補助動力装置の始動を試みたが始動できなかったため、航空交通管制上の優先権を要請の上、目的地に着陸した。	レギュラー運航
2/4	全日本空輸	エアバス・インダストリー式A320-200型	JA8390	福岡空港	仙台空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2/5	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8971	仙台空港	大阪国際空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2/5	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8290	大分空港	東京国際空港	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2/5	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA855A	大阪国際空港	新潟空港	進入中、鳥衝突により左側の高揚力装置を損傷した。	
2/6	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8986	東京国際空港	大分空港	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
2/7	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA01MC	北九州空港	東京国際空港	降下中、慣性航法装置と飛行管理装置が算出する位置情報に差異があることを示す計器表示があった。	
2/7	日本航空	ボーイング式777-300型	JA731J	ロンドン	成田国際空港	着陸時、風の影響を受け不安定な着陸となり、第2エンジンのカウル(覆い)の下部が滑走路に接触した。	
2/7	全日本空輸	ボーイング式777-300型	JA755A	新千歳空港	大阪国際空港	上昇中、被雷により貨物室扉及び右側エルロン等が損傷した。	
2/7	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA207J	花巻空港	新千歳空港	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2/8	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	JA737E	大分空港	東京国際空港	運航整備中、第2エンジンのファンブレード等に鳥衝突による損傷を発見した。	
2/8	ジャルエクスプレス	ボーイング式737-800型	JA313J	秋田空港	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2/9	ANAウイングス	ボーイング式737-500型	JA8419	福岡空港	成田国際空港	離陸後、脚上げ操作を実施したが、脚操作レバーを動かすことができなかったため、引き返した。	レギュラー運航
2/9	エア・ドゥ	ボーイング式767-300型	JA8359			定時整備中、操縦室内でオブザーバー席用のスモークゴーグルのレンズが脱落しているのを発見した。	
2/9	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA460A	高知空港	大阪国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
2/9	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA02JJ	那覇空港	成田国際空港	離陸滑走中、第2エンジンの圧縮機の静翼を制御する装置に不具合が発生したことを示す計器表示があったため、離陸を中止した。	
2/10	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NF	新千歳空港	東京国際空港	上昇中、ウインドシアー警報及び気象レーダーが不動作であることを示す計器表示があった。	
2/10	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA08MC	釜山	北九州空港	運航整備中、機体後方の左乗降扉の非常脱出用スライドを展開させる窒素ボルトの圧力が低下していた。	
2/11	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8360	神戸空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2/11	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA460A	高知空港	大阪国際空港	巡航中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
2/12	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA57AN	東京国際空港	美保飛行場	着陸時、鳥衝突により右側の水平尾翼を損傷した。	
2/12	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA01RJ	小松飛行場	成田国際空港	進入中、誤って運用限界速度を超える速度で高揚力装置を展開した。	
2/12	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA211J			定時整備中、左主翼の後桁に損傷を発見した。	
2/13	新中央航空	ドルニエ式Dornier228-212型	JA32CA	神津島空港	調布飛行場	出発前の作動点検中、スタビライザートリムに不具合が発生した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
2/14	日本航空	ボーイング式767-300型	JA608J	ホノルル	関西国際空港	巡航中、機長側の酸素マスクのハーネスが正常に膨らまなかった。	
2/14	エア・ドゥ	ボーイング式767-300型	JA98AD	函館空港	東京国際空港	進入中、被雷により前脚扉が損傷した。	
2/15	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA04MC	東京国際空港	関西国際空港	巡航中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
2/15	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA04MC	関西国際空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
2/16	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA788A	成田国際空港	サンフランシスコ	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2/16	日本航空	ボーイング式767-300型	JA613J	ホノルル	中部国際空港	巡航中、機長側の酸素マスクのハーネスが正常に膨らまなかった。	
2/16	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA845A	中部国際空港	秋田空港	巡航中、前方の貨物室扉が確実に閉じられていないことを示す計器表示があったため、引き返した。	レギュラー運航
2/16	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA615A	マニラ	成田国際空港	上昇中、鳥衝突により第2エンジンのファンブレードを損傷した。	
2/16	全日本空輸	ボーイング式737-500型	JA358K			定時整備中、垂直尾翼の後部に腐食を発見した。	
2/17	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA702A	鹿児島空港	東京国際空港	進入中、鳥衝突により第1エンジンのファンケース内部のパネルを損傷した。	
2/19	エアアジア・ジャパン	エアバス式A320-214型	JA03AJ	成田国際空港	新千歳空港	上昇中、電子機器室扉が確実に閉じられていないことを示す計器表示があった。	
2/19	ジャルエクスペレス	ボーイング式737-800型	JA313J	東京国際空港	広島空港	巡航中、機長側と副操縦士側の速度計及び高度計の指示値に差異が生じたため、航空交通管制上の優先権を要請の上、引き返した。	レギュラー運航
2/20	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737M	東京国際空港	熊本空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2/20	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA05MC	東京国際空港	福岡空港	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2/20	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73ND	神戸空港	百里飛行場	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2/21	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NF	新千歳空港	東京国際空港	上昇中、対地接近警報装置が不動作であることを示すライトが点灯した。	
2/22	北海道エアシステム	サブ式SAAB340B型	JA03HC	函館空港	札幌飛行場	離陸後、脚上げ操作を実施したが、脚が上がらなかった。(天候等を勘案したうえで目的地まで飛行を継続した。)	
2/22	エア・ドゥ	ボーイング式737-700型	JA01AN	女満別空港	東京国際空港	運航整備中、客室内の一部の非常用照明灯が座席の取付部から外れており、点灯しないことを発見した。	
2/22	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA05JJ	那覇空港	関西国際空港	離陸後、不適切な操作により機速が維持できず、高揚力装置展開時の運用限界速度を超過した。	
2/22	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737P	福岡空港	那覇空港	上昇中、対地接近警報装置が不動作であることを示すライトが点灯した。	
2/22	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA842A	新潟空港	大阪国際空港	上昇中、被雷により胴体上部及び主翼外板等が損傷した。	
2/22	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA02RJ	大阪国際空港	福岡空港	進入中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
2/22	日本エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA846C	福岡空港	宮崎空港	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2/22	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA201J	花巻空港	新千歳空港	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
2/22	琉球エア・コミューター	デ・ハビランド式DHC-8-103型	JA8935	奄美空港	那覇空港	巡航中、操縦室右側の窓に亀裂が発生したため、航空交通管制上の優先権を要請の上、着陸した。	レギュラー運航
2/23	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NP	東京国際空港	福岡空港	進入中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
2/23	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NP	神戸空港	長崎空港	離陸滑走中、操縦席左側の操縦室窓のロックが外れ、窓が開き始めたため、離陸を中止した。(飛行前の確認が不十分であった。)	
2/23	エア・ドゥ	ボーイング式737-700型	JA11AN	東京国際空港	旭川空港	着陸復行中、不適切な操作により機速が維持できず、高揚力装置展開時の運用限界速度を超過した。	
2/24	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA201J	青森空港	新千歳空港	離陸後、脚上げ操作を実施したが、操作レバーの位置と脚の位置が不一致であることを示す計器表示とともに、前脚が正常に格納されていないことを示す計器表示があった。	
2/24	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA06KZ	台北	ソウル(仁川)	着陸後、第4エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
2/25	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA55AN	東京国際空港	岩国飛行場	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2/26	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA06FJ	花巻空港	名古屋飛行場	巡航中、機内と機外の最大差圧が運用限界に接近していたため、高度を下げて飛行した。	
2/26	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA215J	花巻空港	大阪国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2/26	ジャルエクスペレス	ボーイング式737-800型	JA342J	東京国際空港	宮崎空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2/27	全日本空輸	エアバス・インダストリー式A320-200型	JA8396	東京国際空港	山口宇部空港	離陸滑走中、機長側の姿勢等を表示させる画面の表示が消えたため、離陸を中止した。	
2/27	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8357	東京国際空港	広島空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
2/27	全日本空輸	エアバス式A320-211型	JA8396			定時整備中、左主翼後縁の外板に腐食を発見した。	
2/28	新中央航空	ドルニエ式Dornier228-212型	JA31CA	大島空港	調布飛行場	離陸後、脚上げ操作を実施したが、脚が上がらなかった。(天候等を勘案したうえで目的地まで飛行を継続した。)	
3/1	ジャルエクスプレス	ボーイング式737-800型	JA323J	東京国際空港	宮崎空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
3/1	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA731J	ロンドン	成田国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
3/2	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-400型	JA734H	東京国際空港	宮崎空港	巡航中、燃料油量計の表示に不具合が発生した。	
3/2	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8597	関西国際空港	石垣空港	運航整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
3/3	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA460A	新千歳空港	仙台空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
3/3	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8986	東京国際空港	熊本空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
3/4	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NH	那覇空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
3/5	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8324	高松空港	那覇空港	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
3/5	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8275	那覇空港	高松空港	進入中、対地接近警報装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
3/6	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737K	東京国際空港	新千歳空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
3/7	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA201J	青森空港	新千歳空港	降下中、誤って管制指示高度を逸脱した。	
3/7	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8365			装備品整備中、非常用脱出スライドを動作させたところ、一部が膨らまず、スライドが正常に展開しなかった。	
3/7	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8368			定時整備中、乗客用の酸素マスクの落下試験を実施したが、規定値内で作動しなかった。	
3/8	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8567	東京国際空港	神戸空港	運航整備中、左側の高揚力装置に鳥衝突による損傷を発見した。	
3/8	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NP	新千歳空港	成田国際空港	降下中、ウィンドシアー警報が不動作であることを示す計器表示があった。	
3/8	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NP	成田国際空港	福岡空港	降下中、ウィンドシアー警報及び気象レーダーが不動作であることを示す計器表示があった。	
3/9	全日本空輸	ボーイング式737-700型	JA18AN	杭州(中国)	関西国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
3/9	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA780A	ワシントン	成田国際空港	上昇中、電子機器室扉が確実に閉じられていないことを示す計器表示があったため、引き返した。	イレギュラー運航
3/9	エア・ドゥ	ボーイング式737-500型	JA300K	新千歳空港	新潟空港	運航整備中、右主翼内側フラップの後端部が正常に格納されていないことを発見した。	
3/10	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA789A	成田国際空港	サンフランシスコ	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
3/11	エア・ドゥ	ボーイング式767-300型	JA98AD			書類確認の結果、油圧フィルターの詰まりを示す表示器に誤った部品が取り付けられていることが判明した。	
3/11	エア・ドゥ	ボーイング式767-300型	JA01HD			書類確認の結果、油圧フィルターの詰まりを示す表示器に誤った部品が取り付けられていることを発見した。	
3/11	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737K	新千歳空港	関西国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
3/11	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737K	那覇空港	関西国際空港	降下中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
3/11	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NF	新千歳空港	中部国際空港	進入中、ウィンドシアー警報が不動作であることを示す計器表示があった。	
3/12	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NP			書類確認の結果、滑油の異物を検知するスクリーンのパッキンに誤った部品が使用されていることが判明した。	
3/12	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA04FJ	名古屋飛行場	名古屋飛行場	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
3/12	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737K	関西国際空港	新千歳空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
3/12	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737K	新千歳空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
3/12	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737K	東京国際空港	神戸空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
3/12	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NA	新千歳空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
3/12	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737K	神戸空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
3/12	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737K	長崎空港	神戸空港	巡航中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
3/13	エア・ドゥ	ボーイング式767-300型	JA01HD	新千歳空港	東京国際空港	運航整備中、油圧フィルターの詰まりを示す表示器に誤った部品が取り付けられていることを発見した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
3/14	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NP	関西国際空港	那覇空港	巡航中、乗客が化粧室内で喫煙したため、煙検知器が作動した。	
3/14	全日本空輸	ボーイング式737-700型	JA02AN	東京国際空港	東京国際空港	試験飛行中、乗客用の一部の酸素マスクが正常に落下しない状態であることを発見した。	
3/14	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA01FJ	青森空港	名古屋飛行場	上昇中、左右燃料タンクの燃料量に差異が生じ、運用限界を超過した。(出発前の燃料量の確認等が不十分であった。)	
3/15	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA219J	新潟空港	大阪国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
3/16	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737K	那覇空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不作動であることを示す計器表示があった。	
3/16	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8971			定時整備中、右側の水平尾翼の上部外板に腐食を発見した。	
3/17	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NM	成田国際空港	福岡空港	上昇中、左右燃料タンクの燃料量に差異が生じ、運用限界を超過した。(出発前の燃料ポンプの状態確認等が不十分であった。)	
3/18	日本航空	ボーイング式767-300型	JA653J	バンクーバー	成田国際空港	離陸滑走中、鳥に衝突したため、離陸を中止した。	
3/18	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA04KZ	香港	成田国際空港	着陸後、第3エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
3/19	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Z	那覇空港	東京国際空港	巡航中、化粧室の煙探知器に不具合が発生したことを示すライトが点灯した。	
3/19	全日本空輸	ボーイング式747-400D型	JA8960			定時整備中、後部胴体の乗降用扉の切り欠き部の外板に腐食を発見した。	
3/19	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Z	中部国際空港	那覇空港	巡航中、化粧室の煙探知器に不具合が発生したことを示すライトが点灯した。	
3/19	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Z	那覇空港	福岡空港	巡航中、化粧室の煙探知器に不具合が発生したことを示すライトが点灯した。	
3/20	全日本空輸	ボーイング式737-500型	JA8500	福岡空港	那覇空港	巡航中、客室高度が上昇していることを示すライトが点灯したため、航空交通管制上の優先権を要請の上、降下した。(整備作業が不適切であったものと考えられる。)	レギュラー運航
3/20	日本航空	ボーイング式767-300型	JA603J	中部国際空港	パラオ	上昇中、燃料油量計の表示に不具合が発生したため、目的地を変更した。	レギュラー運航
3/20	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8940	久米島空港	那覇空港	着陸後、燃料油量計の表示に不具合が発生した。	
3/21	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA55AN	大館能代空港	東京国際空港	離陸滑走中、ウィンドシアーの発生を示す計器表示があったため、離陸を中止した。	
3/22	日本航空	ボーイング式767-300型	JA615J	ホノルル	成田国際空港	巡航中、機長側の酸素マスクのハーネスが正常に膨らまなかった。	
3/22	日本航空	ボーイング式767-300型	JA613J	ホノルル	成田国際空港	巡航中、機長側の酸素マスクのハーネスが正常に膨らまなかった。	
3/22	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA209J	大阪国際空港	大分空港	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
3/23	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA03KZ	成田国際空港	アンカレッジ	着陸時、運航乗務員用の休憩スペース内の煙検知器が一時的に作動した。	
3/24	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NC	那覇空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
3/25	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA850A	新潟空港	中部国際空港	離陸滑走中、第1エンジンの滑油温度が不安定になったため、離陸を中止した。	
3/27	ジェットスター・ジャパン	エアバスA320-232型	JA03JJ	那覇空港	成田国際空港	上昇中、乗客が化粧室内で喫煙したため、煙検知器が作動した。	
3/27	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA03KZ	シンガポール	バンコク	着陸後、第3エンジンの逆推力装置が展開後格納できなかった。	
3/27	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8998			定時整備中、一部の救命胴衣が搭載可能期限を超えて搭載されていることを発見した。(整備計画が不適切であった。)	
3/28	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737M	長崎空港	神戸空港	地上滑走中、航空機衝突防止装置が不作動であることを示す計器表示があったため、スポットへ引き返した。	
3/28	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA211J			定時整備中、客室後方の化粧室の消火ボルトの圧力が0となっていることを発見した。	
3/29	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA704A			定時整備中、右側パイロンの外板に摩耗による損傷を発見した。	
3/30	全日本空輸	ボーイング式747-400D型	JA8961			定時整備中、後部胴体の垂直尾翼取付部の外板に摩耗による損傷を発見した。	
3/31	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA220J	宮崎空港	大阪国際空港	進入中、被雷により胴体前部が損傷した。	
3/31	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA203J	松山空港	大阪国際空港	進入中、被雷により右側の高揚力装置のフェアリングが損傷した。	
3/31	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73ND	新千歳空港	東京国際空港	降下中、被雷により胴体前部及び左側の乗降用扉等が損傷した。	